



FY2024 荏原グループ 健康白書

2025年9月



Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead > Beyond

株式会社 茅原製作所

項目	内容
健康白書とは	荏原グループ従業員の健康診断、生活習慣、健康保険組合の医療費情報等を集計・分析し、荏原グループの健康状態を可視化し、従業員とその家族の健康意識を高め、健康増進のきっかけとすることを目的とする
対象会社	<p>荏原グループ全14社</p> <ol style="list-style-type: none">1. 莳原製作所2. 莳原環境プラント3. 莳原エリオット4. 莳原冷熱システム5. 莳原フィールドテック6. 莳原風力機械7. 莳原電産8. 莳原アーネスト9. 莳原マイスター10. 畠山記念館11. 莳原バイロン・ジャクソン12. イー・シー・イー13. 莳原湘南スポーツセンター14. イースクエア <p>※荏原製作所にて健康管理を行っている法人（健康経営度調査申請法人に準ずる）</p>



2016	DBJ健康経営格付 最高ランクを取得	2022	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定
2017	「健康経営優良法人（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定	2023	「スポーツエールカンパニー2022」に認定
2018	「健康経営優良法人（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定	2024	「健康経営優良法人2023（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定
2019	-		「スポーツエールカンパニー2023」に認定
2020	「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定		「健康経営優良法人2024（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定
2021	「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定		「スポーツエールカンパニー2024」に認定
	「スポーツエールカンパニー2021」に初認定	2025	「東京都スポーツ推進企業」に初認定
			「健康経営優良法人2025（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定
			「スポーツエールカンパニー2025」に認定



荏原グループの健康経営

荏原グループ健康経営宣言



2025年6月1日
代表執行役社長 細田 修吾

荏原グループの人的資本経営は、個人と会社の成長を同時に実現することであり、そのためには、従業員が「健康」であることが重要です。

荏原グループの従業員とご家族が、自らの健康を主体的にマネジメントし、心身ともに健康で、社会的にも満たされた状態＝well-beingを実現できるよう、職場環境・支援体制の整備を推進します。

働きやすさ・働きがい・well-being向上により、個人が活き活きと活躍し、従業員の皆さんと荏原グループが、お互いに持続的に成長することで、社会の発展に貢献していくことを目指します。

改善策の検討（次年度）

- ・下記データの分析
2025年度健康保険組合加入者データ
2025年健康診断データ
2025年生活習慣データ

PLAN

ACT

PDCA

DO

CHECK

行動を評価・分析

- ・KPI・KGI
・2025年実施分施策レビュー（次年度）

計画の作成

- ・健康経営戦略マップ
- ・2024年度荏原健康保険組合データ
- ・2024年健康診断データ
- ・2024年生活習慣データ
- ・ストレスチェックデータ
- ・荏原グループの健康課題と改善策

計画を実行

- ・体制図
- ・FY2025 施策マップ
- ・健康施策のコンセプト

健保組合データ

- ・従業員構成：8割が男性、人数ピークは50歳前後
- ・医療費：がんや、内分泌・循環器疾患などの生活習慣病が占める割合が高い
- ・がん検診：女性がん検診の受検率が低い
- ・生活習慣病：健保加入者の増加に伴い、患者数・重症化患者数は増加しているが、治療放置者の割合は減少しており治療につながってきている
しかし、他健保と比較して治療放置率の割合は高い
- ・特定保健指導：他健保と比較して対象者率が高く、実施率が低い
特保対象ではない34～39歳の時点で、男性の5人に1人が基準に該当し40歳での流入が予測される
- ・被扶養者：健診受診率が低い

健診結果データ

- ・有所見率：男性で高く、男女ともに肥満者が多い
- ・肥満：30代までに肥満者が増加し、その後は減少しない
また、肥満者では、血圧・血糖・脂質・肝機能 の有所見率が高い
- ・血圧：40代ごろから有所見率が上昇
- ・血糖：定年退職を迎える60代には3人に1人が有所見
- ・脂質：30代で急激に有所見率が上昇
- ・肝機能：20代・30代で急激に有所見率が増加

生活習慣データ

- ・睡眠：「睡眠で休養が十分にとれている」者は、プレゼンティーアイズム・ワークエンゲージメントストレス反応が良好な状態にある
- ・食事：朝食欠食をしない者は、プレゼンティーアイズム・ワークエンゲージメントストレス反応が良好な状態にある
若年世代ほど朝食欠食率が高い
- ・喫煙：入社時年齢～退職時年齢まで喫煙率は大きく変化しない
喫煙者は、肥満や各指標（血圧・血糖・脂質・肝機能）が有意に有所見となっている
- ・運動：20代から40代にかけて徐々に運動習慣者割合が低下していく
- ・飲酒：男性の飲酒頻度が高く、年代が上がるごとに飲酒する頻度がふえている

◆健康課題①

肥満・生活習慣病予防

改善策：若年層からの肥満・生活習慣病予防施策による有所見への流入防止

◆健康課題②

プレゼンティーズムの改善

改善策：朝食欠食率、睡眠の質・量の改善とメンタルヘルス施策の強化

◆健康課題③

がん検診実施率の向上

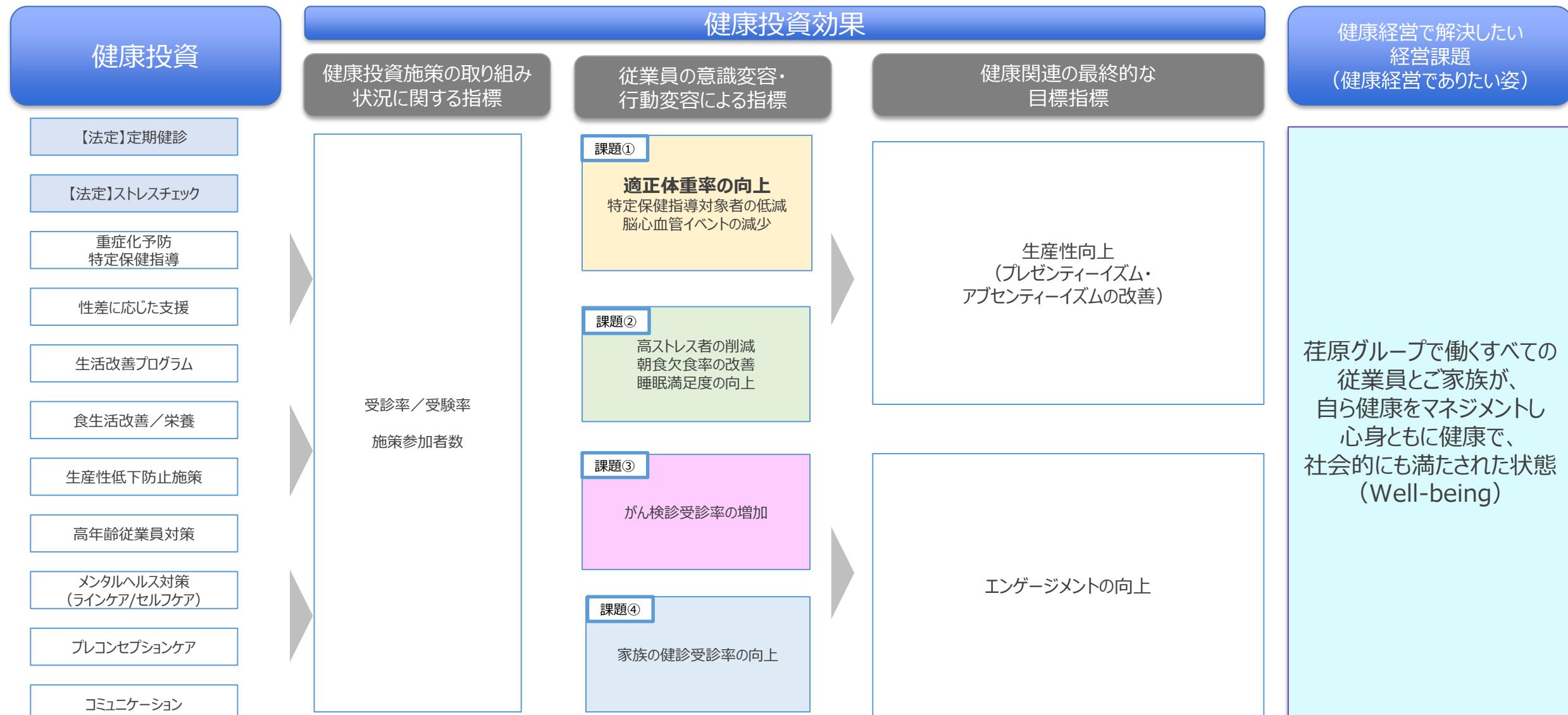
改善策：がん検診の受けやすい仕組み・体制づくり

◆健康課題④

従業員家族の健診増進

改善策：家族の健康も含めた健康情報の普及啓発と体制づくり

2025年度 健康経営戦略マップ[®]



健康経営推進体制図



Sus委員会

海外G会社

人事サポート部

DE&I部

代表執行役社長

CHRO

EC人事統括部

人財戦略部

健康管理部門

- ・医師・保健師・看護師
- ・健康経営推進担当

CHROオフィス

協力部門

- ・経営企画統括部
- ・GPS
- ・コンプライアンス 等

荏原健康保険組合

EC拠点管理統括部

健康経営推進担当者：統括部長

G会社

健康経営推進担当者：人事総務部門マネージャー

健康経営推進担当者MTGメンバー

FY2025_施策マップ[®]

健康増進アプローチ

メンタルヘルス

ラインケア

アンガーマネジメント

休復職者支援

セルフケア

・マインドフルネス
・認知行動療法

食生活改善／栄養

食育マルシェ

ベジチェック

減塩

栄養指導

アルコール

歯科

朝食摂取の促進

健診前駆け込み
ダイエット

ハイリスクアプローチ

重症化予防

血圧測定

ストレスチェック

歯科検診

気付く

定期健診

ベジチェック

内臓脂肪測定

特定保健指導



性差に応じた支援

子宮体がん・頸がん

生理痛体験会

乳がん

男性特有の疾患

女性のライフステージ

生産性低下防止

花粉症

目

片頭痛・頭痛

感染症

肩こり・腰痛

甲状腺

睡眠

生活改善プログラム

血圧

体重

ウォーキング

禁煙

カロママアプリ

婦人体温計

コミュニケーション

荏原文化体育会

プレコンセプションケア

妊活支援

医療相談

高年齢従業員対策

立位機能測定

転倒防止セミナー

項目	実績			目標	
	FY23	FY24	FY25	FY26	FY30
健康診断受診率	100%	100%	後報	100%	100%
再検査／精密検査受診率	62.6%	57.9%	後報	70%	100%
喫煙の低下	23.8%	23.2%	23.4%	20%	17%
女性の健康課題に関する施策 <女性 参加率>	-	-	9.4%	10%	20%
女性の健康課題に関する施策 <管理職 参加率>	-	-	87.4%	100%	100%

健康課題に対する目標と実績(KPI)



健康課題	課題に関連する指標	実績			目標	
		FY23	FY24	FY25	FY26	FY30
①年代ごとの肥満防止・改善施策の強化と適正体重維持	肥満者割合	32.6%	33.7%	後報	30%	27%
	適正体重率	62.2%	61.3%	後報	65%	68%
	特定保健指導 実施率	14.6%	23.8%	後報	30%	33%
	生活習慣病 有所見率 (血圧・脂質・肝臓・血糖)	—	56.7%	後報	53%	50%
②朝食欠食率の改善・睡眠の改善によるプレゼンティーアイズムの向上	ストレスチェックの受検率	93.6%	91.8%	91.1%	95%	98%
	高ストレス者率	7.8%	8.5%	8.4%	7%	7%
	継続的な運動習慣	31.3%	32.3%	33.9%	35%	40%
	朝食欠食率	27.6%	27.8%	28.0%	25%	20%
	睡眠で休養が十分とれている	54.6%	52.1%	52.8%	55%	60%
③がん検診受診率向上	胃	66.9%	64.5%	後報	70%	75%
	大腸	93.5%	84.6%	後報	90%	90%
	乳がん	30.9%	30.4%	後報	50%	60%
	子宮頸がん	15.1%	15.7%	後報	30%	40%
	前立腺がん	12.2%	54.6%	後報	60%	80%
④家族の健診人実施率の向上	被扶養者 健診実施率	47.9%	42.1%	後報	50%	60%

健康経営で目指す姿

荏原グループで働くすべての従業員とご家族が、自ら健康をマネジメントし、心身ともに健康で、社会的にも満たされた状態 (Well-being)

項目	実績				目標	
	FY23	FY24	FY25	FY26	FY30	
プレゼンティーアズム (労働生産性損失割合) ※WHO-HPQ方式に倣って測定 ※ストレスチェックの設問に組み込み、同時測定 ※測定人数及び回答率はストレスチェックに準ずる（※ 1）	35.3%	35.2%	35.0%	34.5%	34%	
アブセンティーアズム (健康問題による欠勤・休職) ※病気欠勤ならびに休職日数の実績値（給与補償の有無にかかわらず）を合算の上、従業員数で割り、平均日数を算出 ※測定人数は全正社員、回答率（データ回収・集計率）は100%	2.34日	2.65日	後報	2.6日	2.6日	
ワーク・エンゲージメント（簡易版） ※ユトレヒト・ワークエンゲージメント尺度と相関の高い2項目を用いたベンダーオリジナルの尺度で測定した結果を偏差値で算出 ※ストレスチェックの設問に組み込み、同時測定 ※測定人数及び回答率はストレスチェックに準ずる（※ 1）	51.4	50.5	50.9	52	53	

※1：特例子会社である荏原アーネストについては、厚生労働省推奨の職業性ストレス簡易調査票及びハラスマントに関する設問を使用したストレスチェックを別途実施している為、本集計結果には含まれない

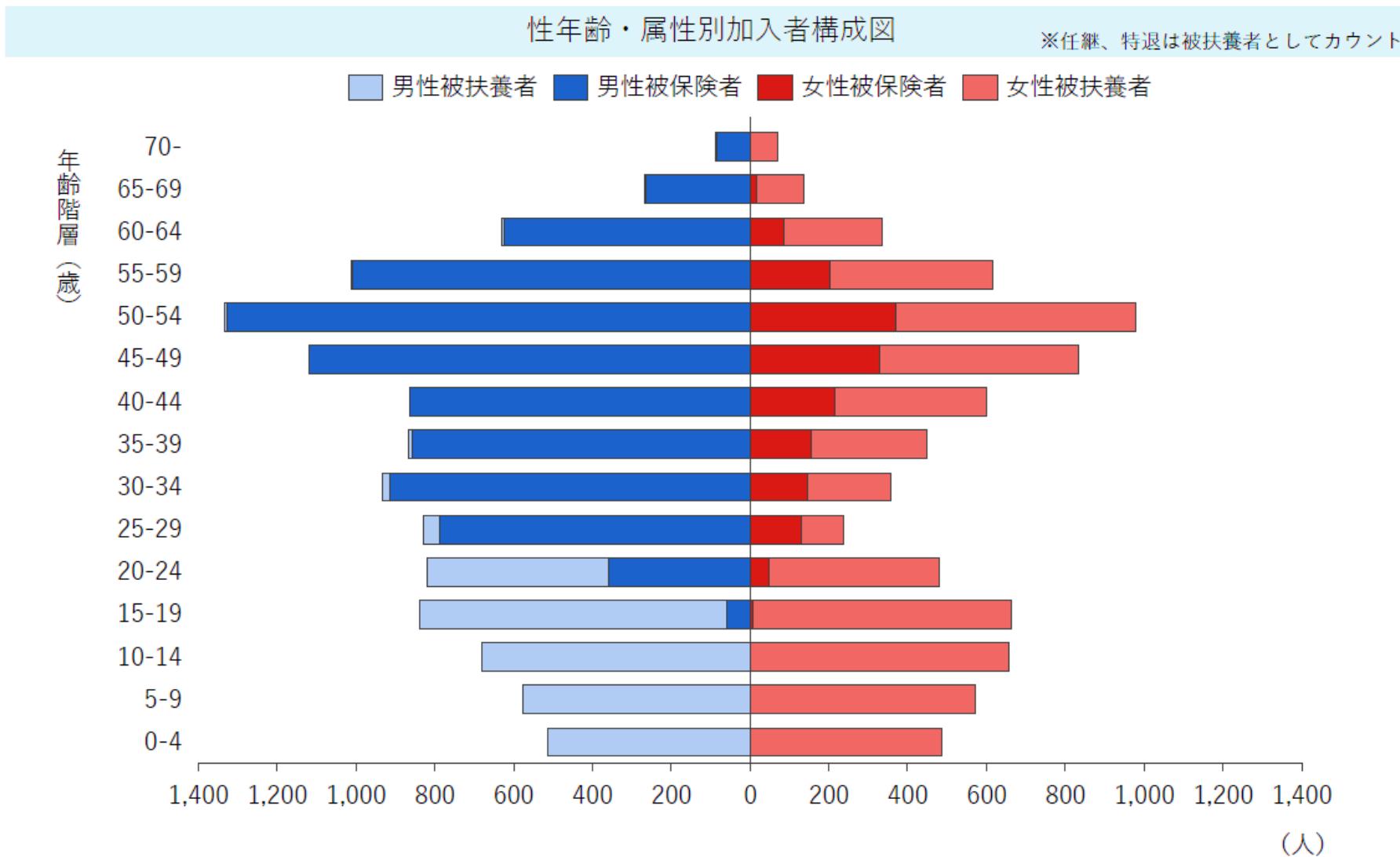
ありがとうございました

詳細データは次ページ以降でご確認ください



荏原健康保険組合データ ～コラボヘルス～

①荏原健康保険組合：加入者特性 <年齢階層別加入者構成>



①荏原健康保険組合：特定健康診査 受診状況

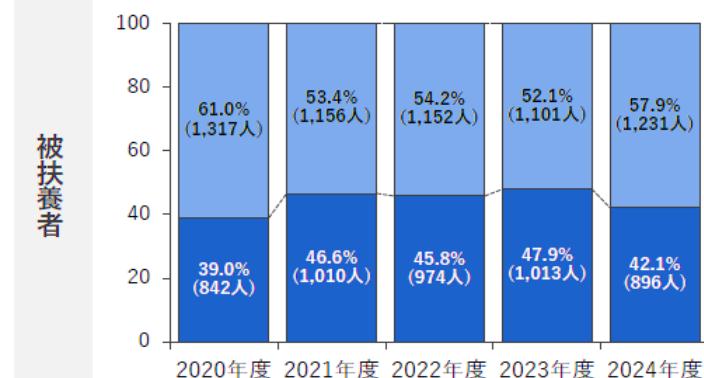
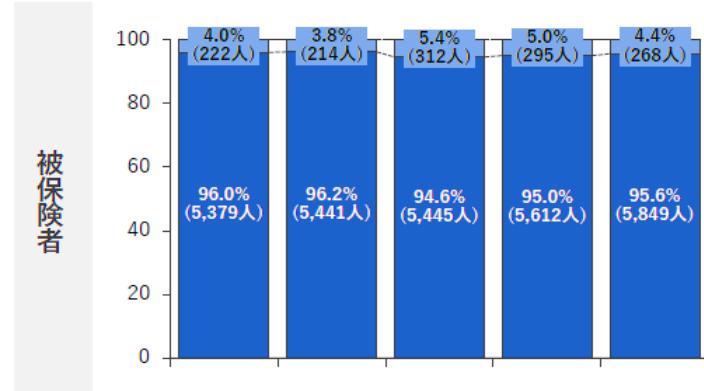


関連する健康課題

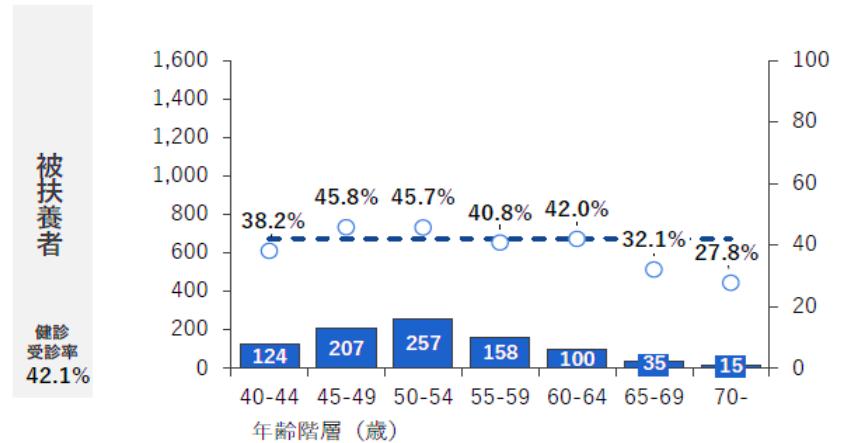
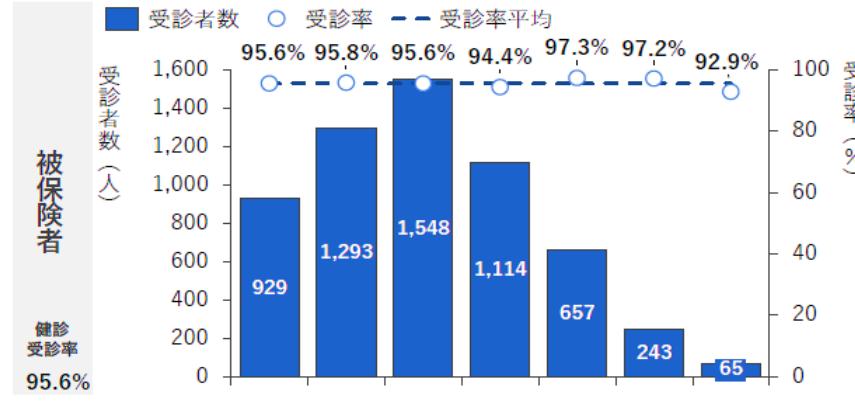
肥満・生活習慣病予防

従業員家族の健診増進

年度別 健診受診率（被保険者・被扶養者別）

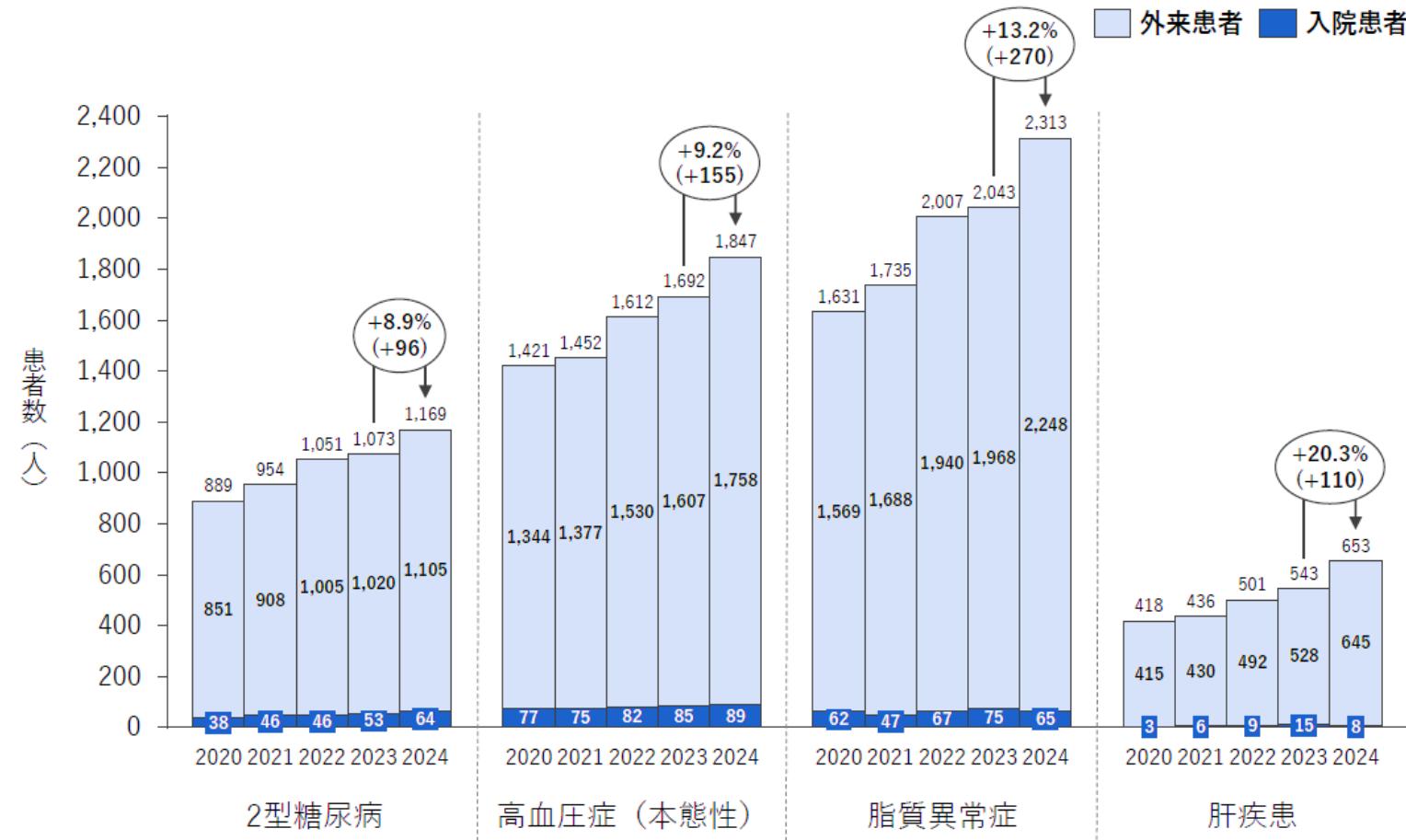


2024年度 年齢階層別健診受診率



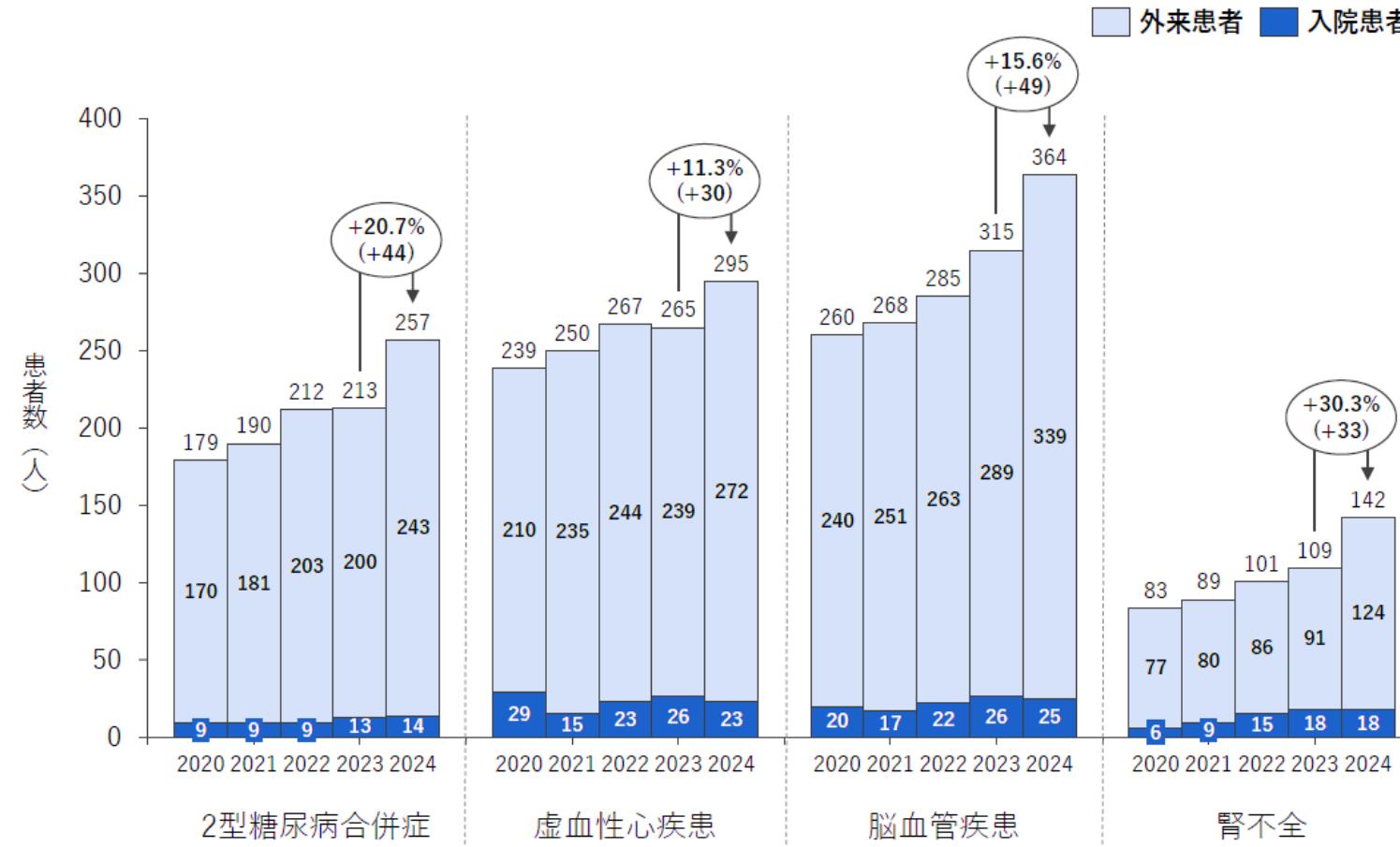
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



①荏原健康保険組合：特定保健指導 実施率



関連する健康課題

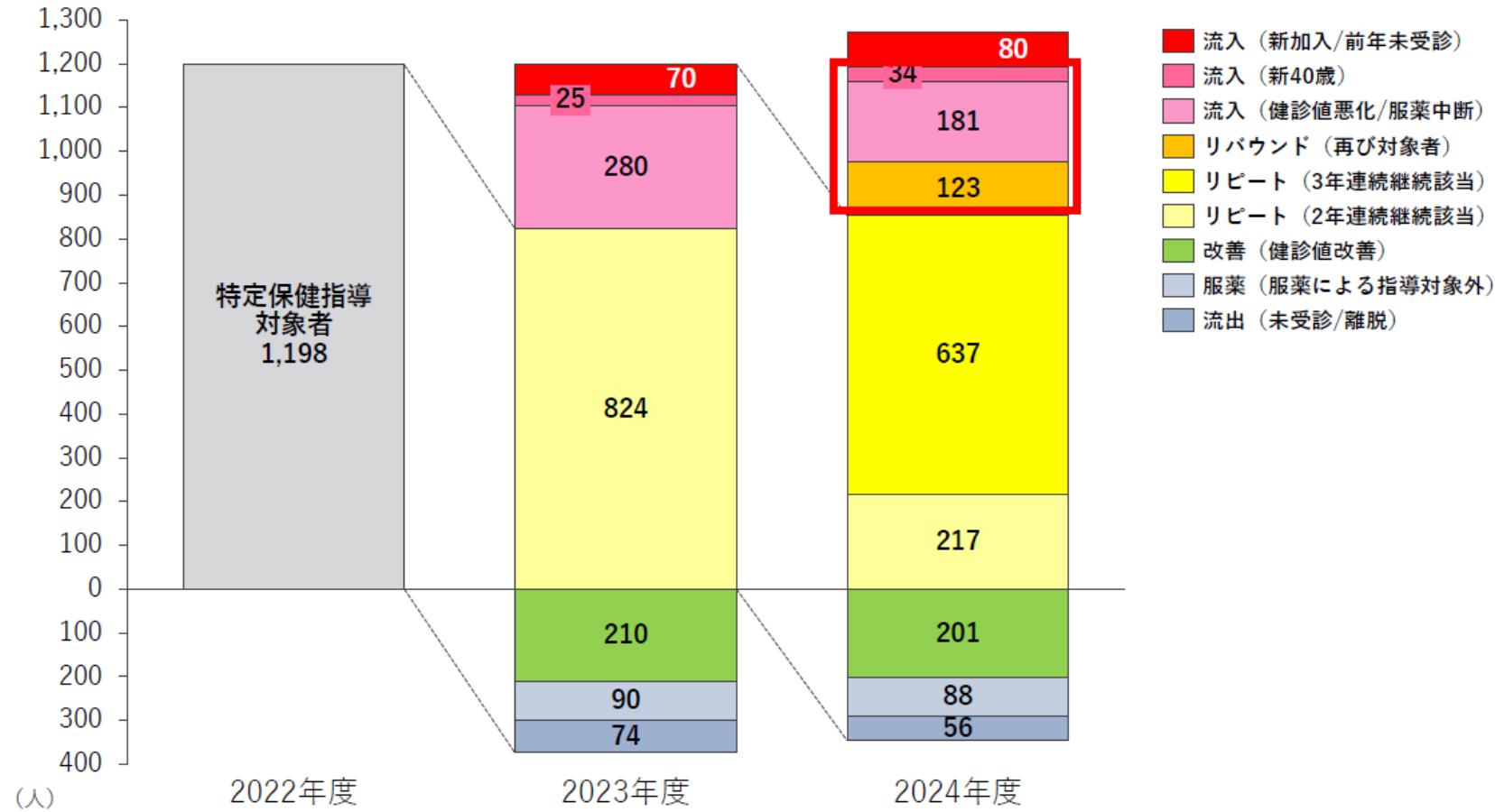
肥満・生活習慣病予防

年度	特定保健指導の対象者数			特定保健指導受診者数（受診終了者数）			特定保健指導受診率		
	総数	支援区分内訳		総数	支援区分内訳		受診率	支援区分受診率	
2022	1,199	積極的支援	737	264	積極的支援	140	22.0%	積極的支援	19.0%
		動機づけ	462		動機づけ	124		動機づけ	26.8%
2023	1,203	積極的支援	704	176	積極的支援	48	14.6%	積極的支援	6.8%
		動機づけ	499		動機づけ	128		動機づけ	25.7%
2024	1,293	積極的支援	754	308	積極的支援	100	23.8%	積極的支援	13.3%
		動機づけ	539		動機づけ	208		動機づけ	38.6%



関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防

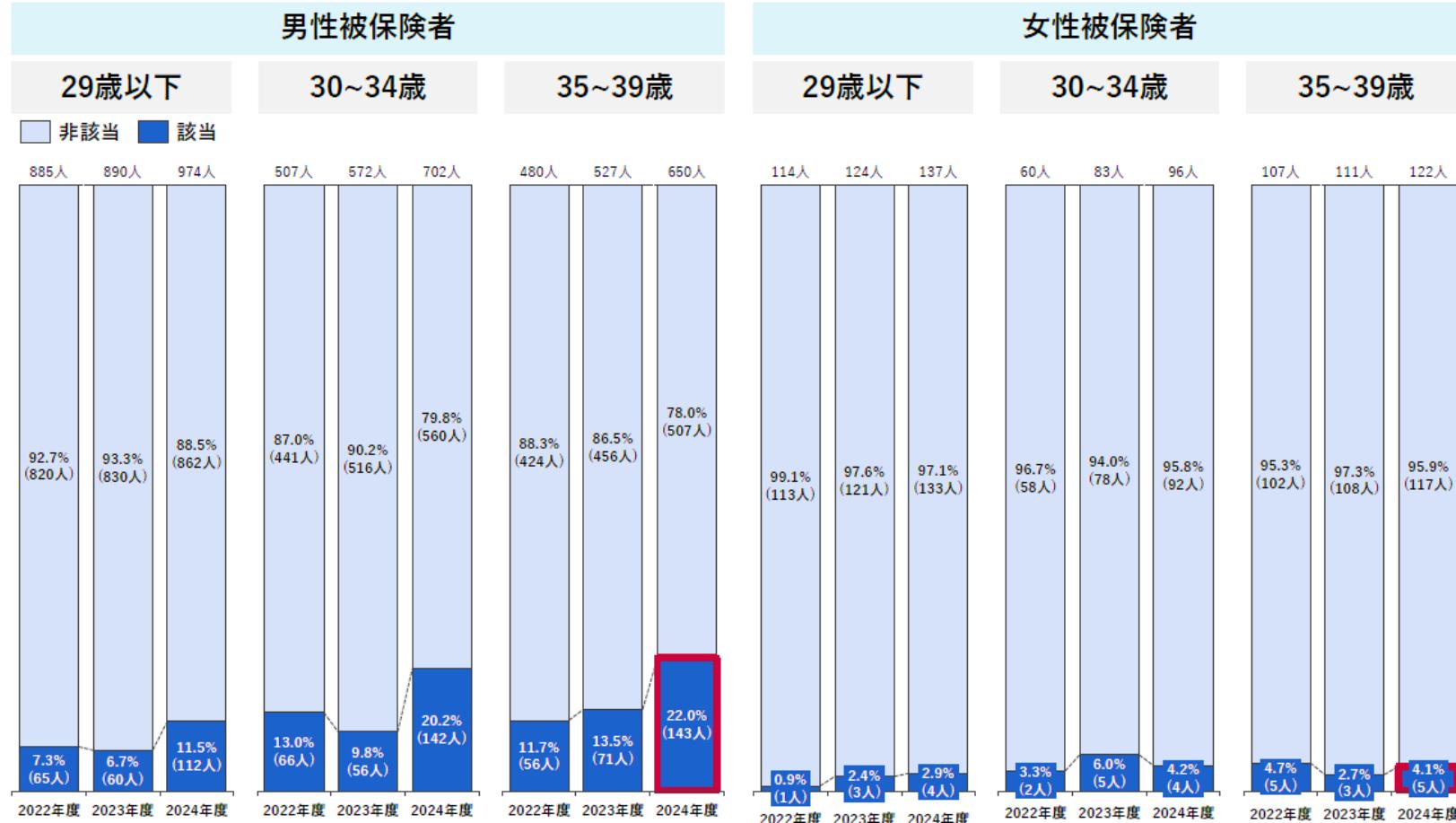


①荏原健康保険組合：特定保健指導 若年層該当者



関連する健康課題

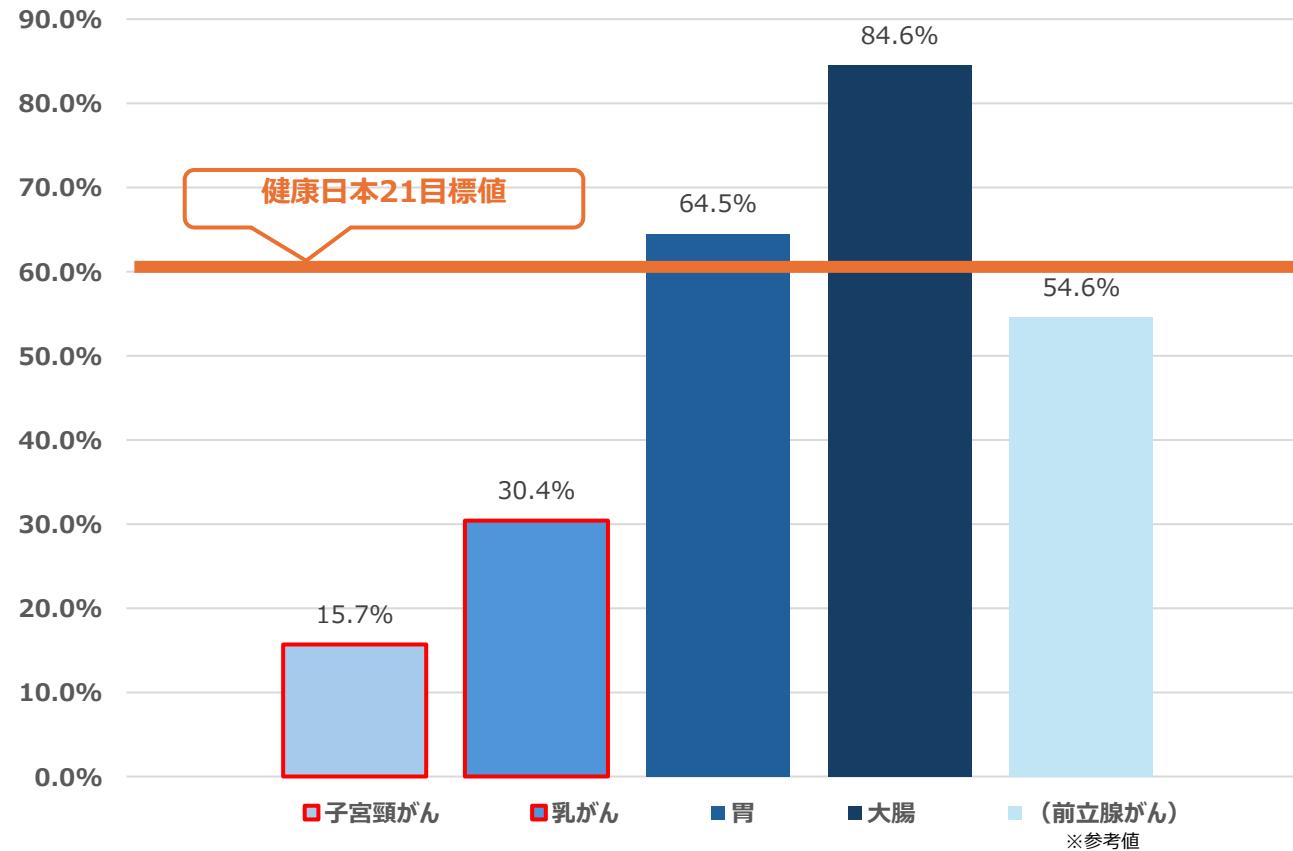
肥満・生活習慣病予防



関連する健康課題

がん検診実施率の向上

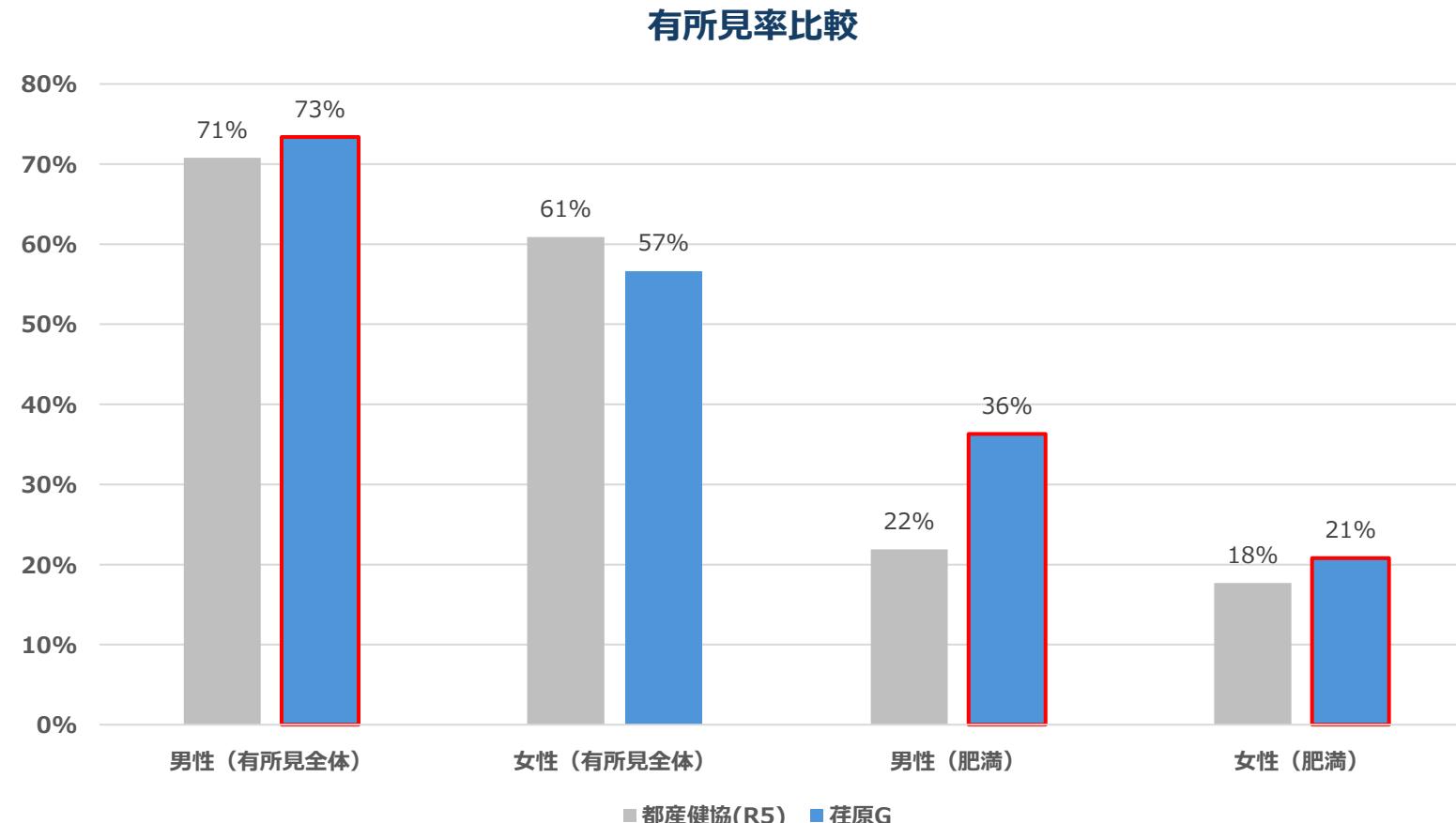
がん検診受診率 (2024)



健康診断データ

関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



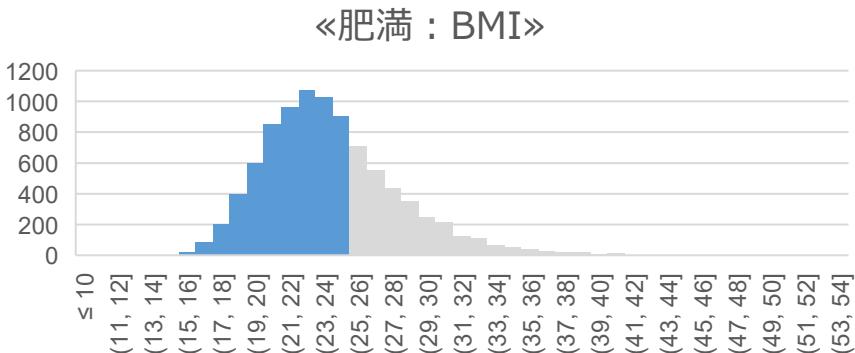
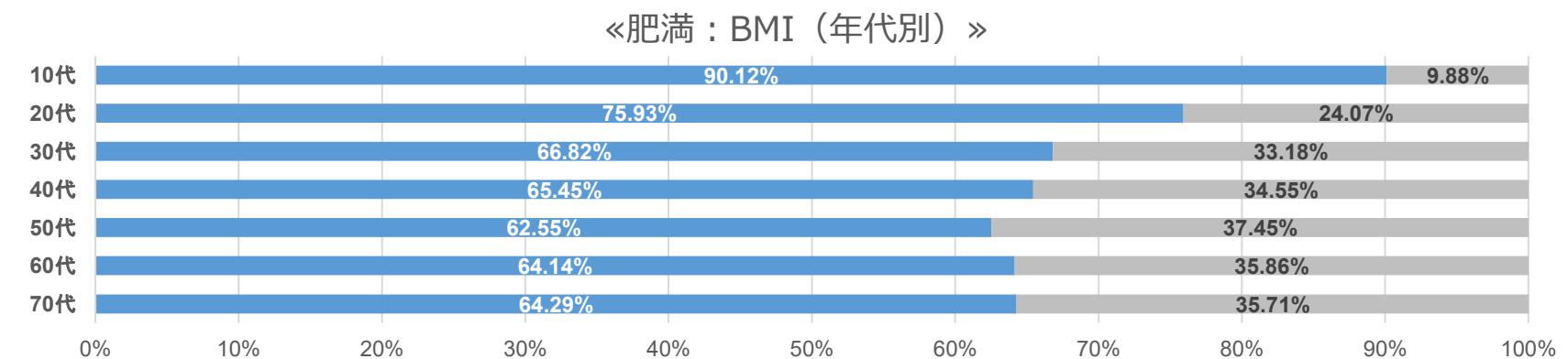
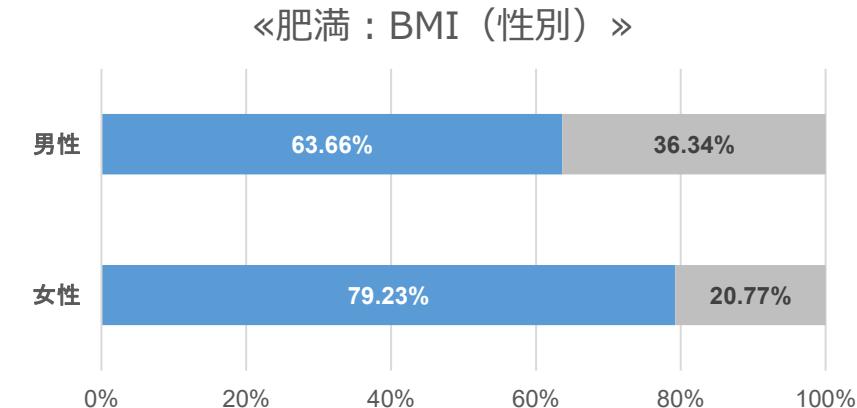
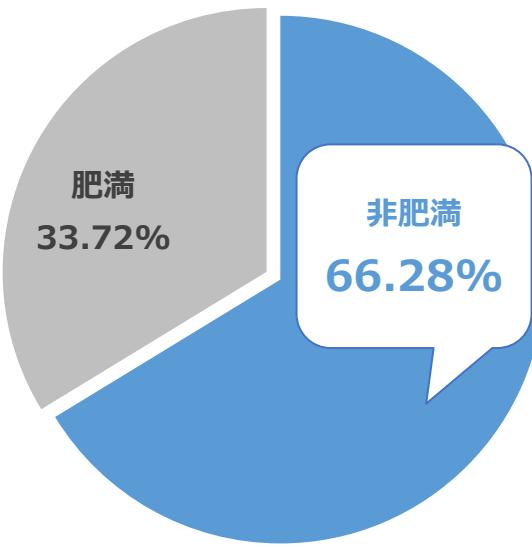
肥満の定義


$BMI \geq 25 \text{kg/m}^2$

都産健協（東京都産業保健健康診断機関連絡協議会）

関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



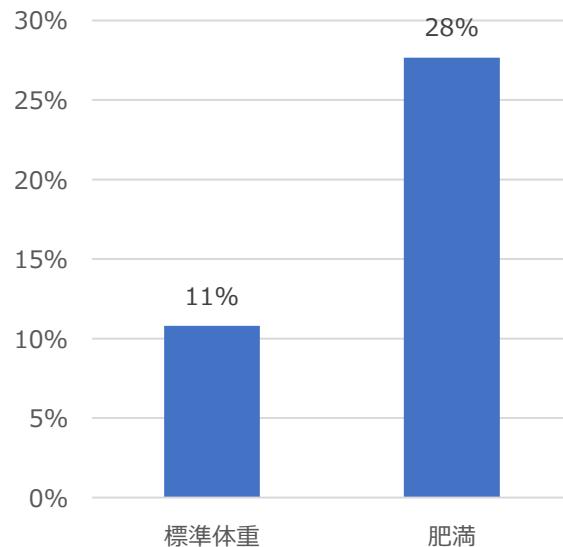
②健康診断：有所見者割合比較（標準体重：肥満）



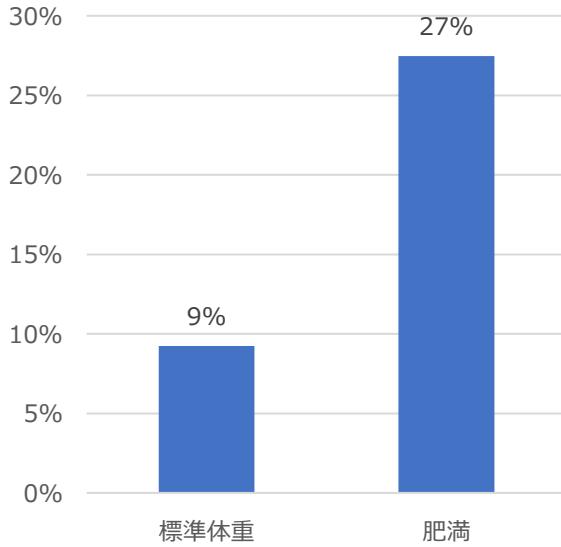
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防

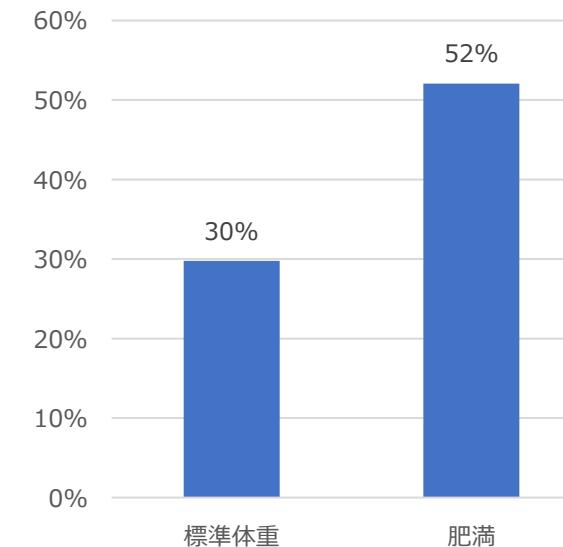
血圧有所見者割合



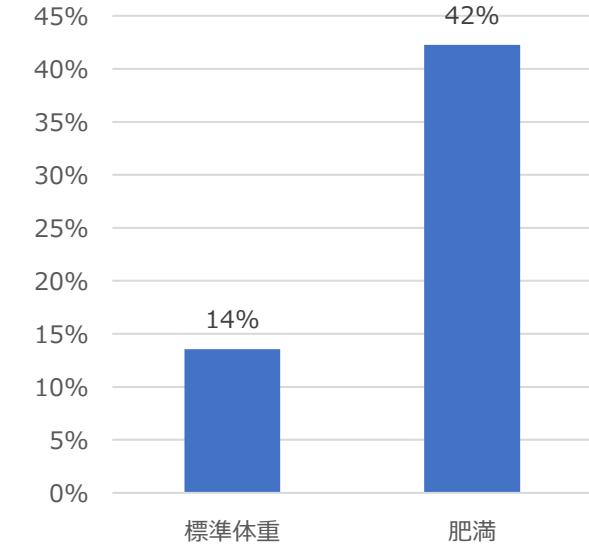
血糖有所見者割合



脂質有所見者割合

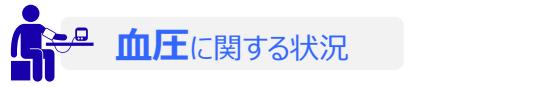


肝機能有所見者割合

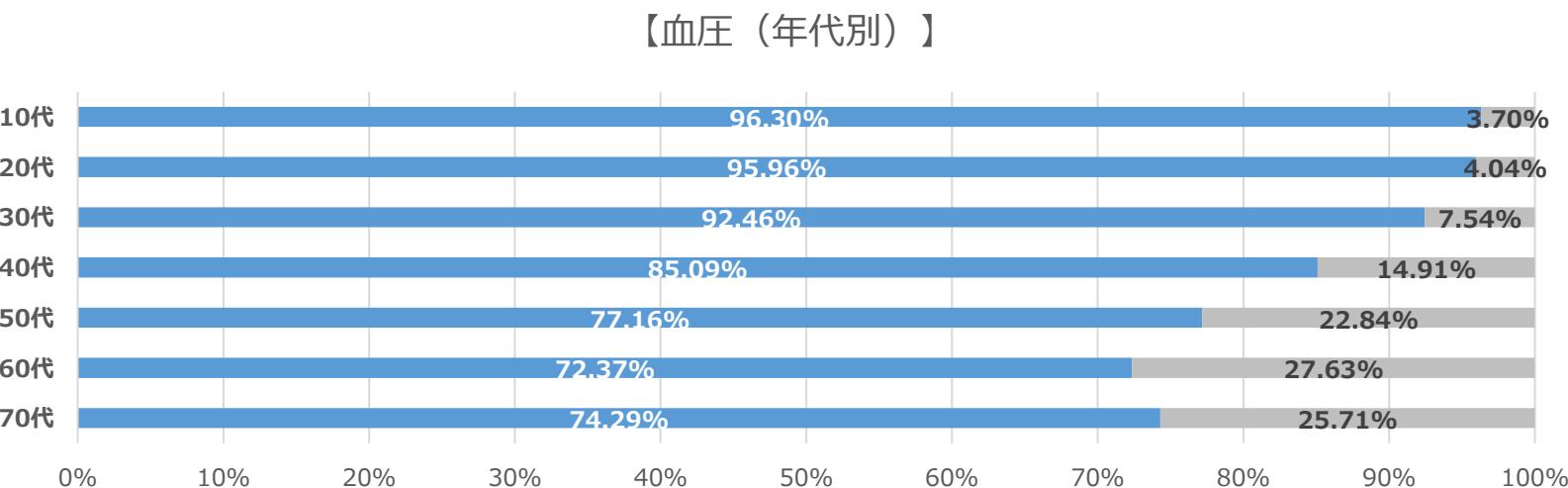
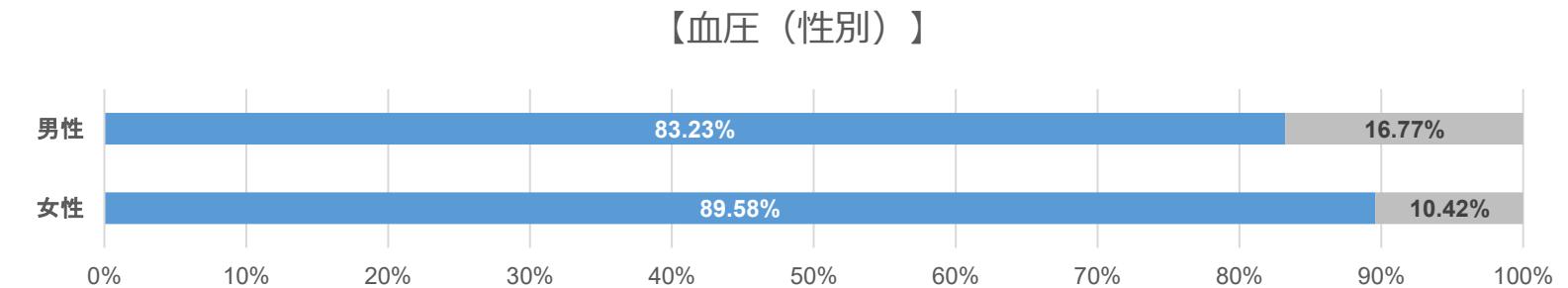
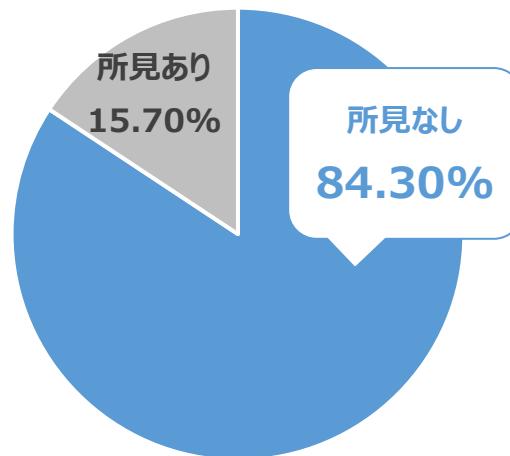


関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



【血圧（全体）】

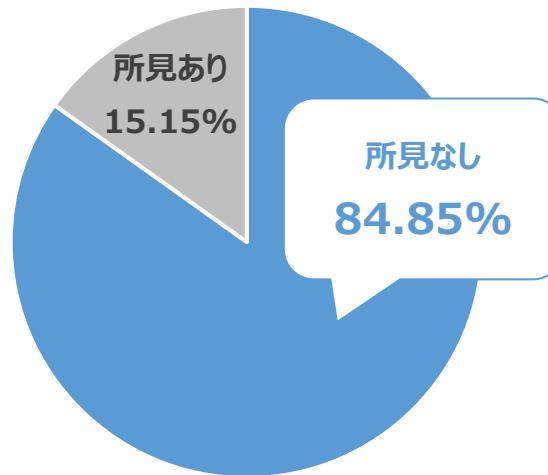


関連する健康課題

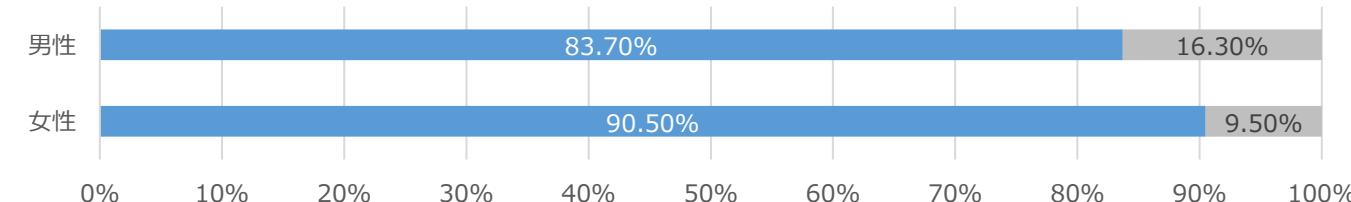
肥満・生活習慣病予防



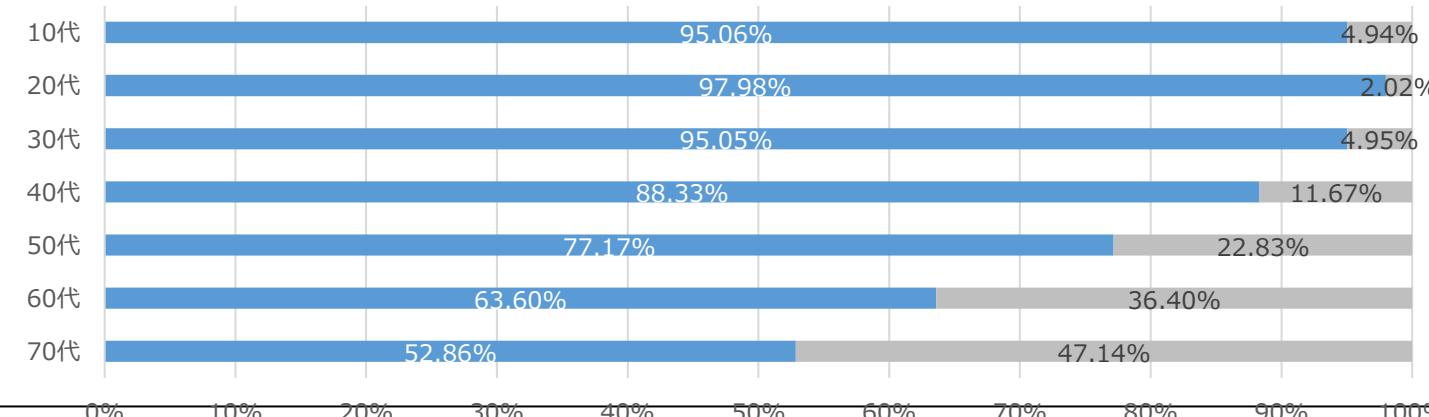
【糖代謝（全体）】



【糖代謝（性別）】



【糖代謝（年代別）】



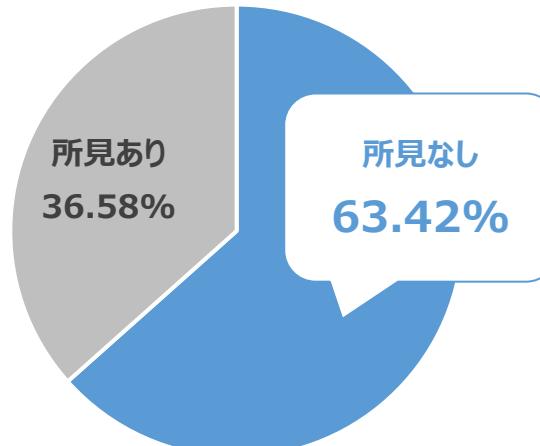
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防

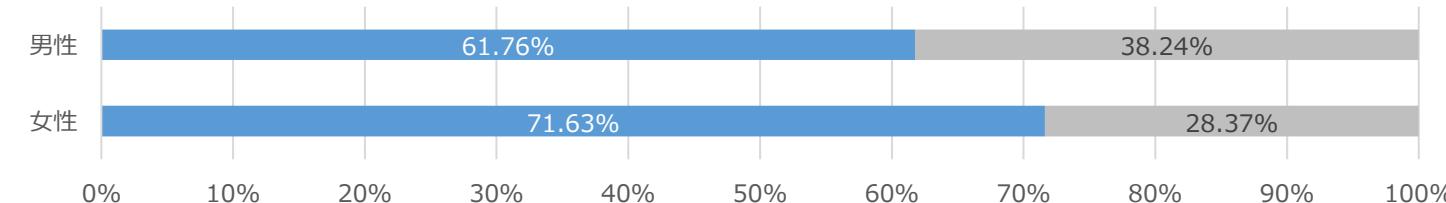


脂質に関する状況

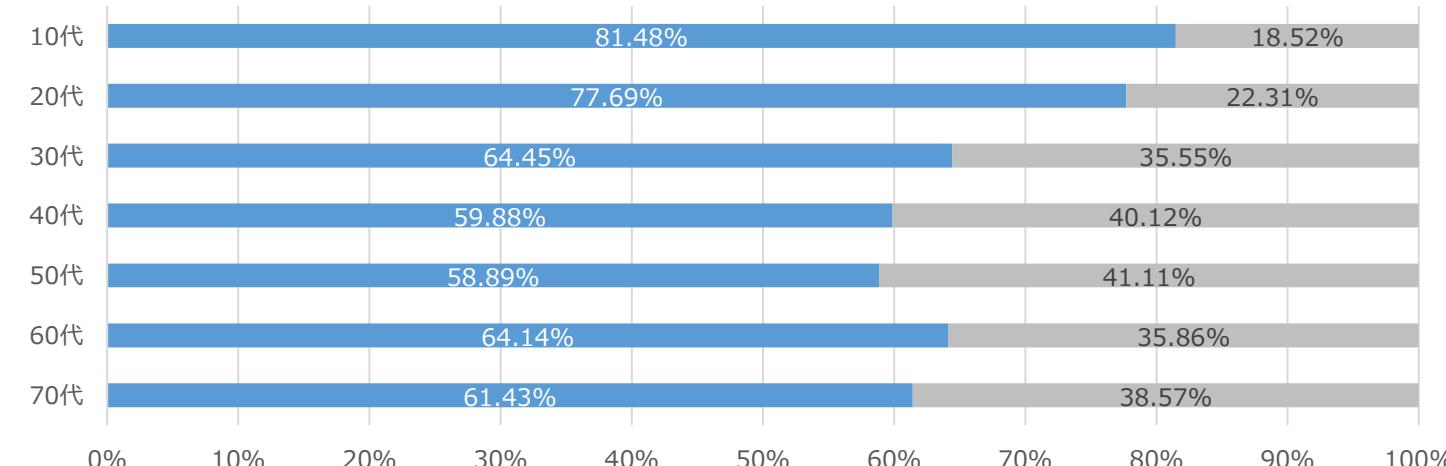
【脂質（全体）】



【脂質（性別）】



【脂質（年代別）】

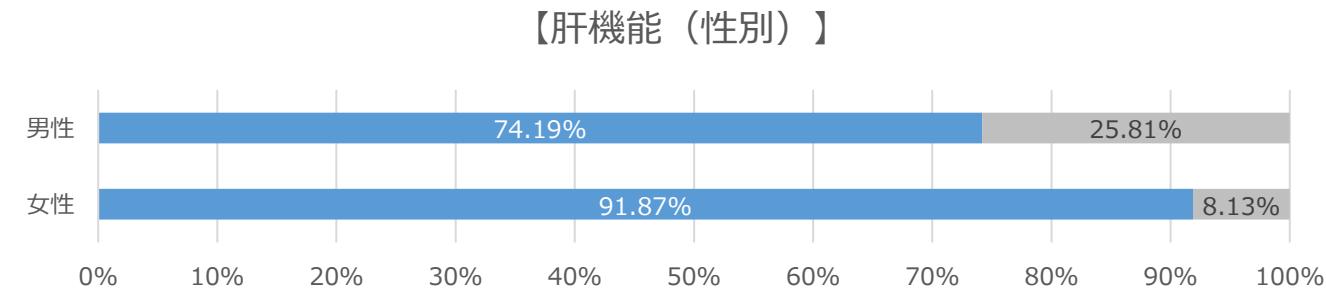
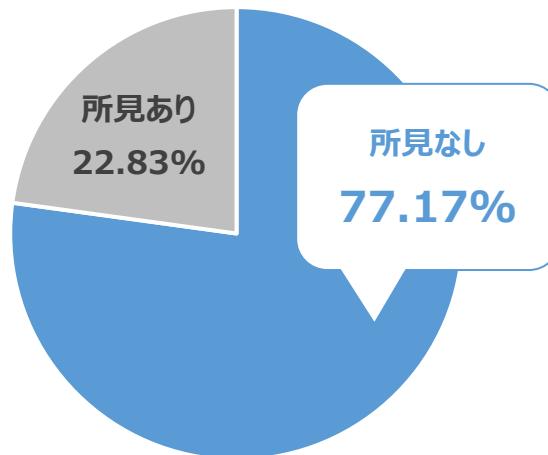


関連する健康課題

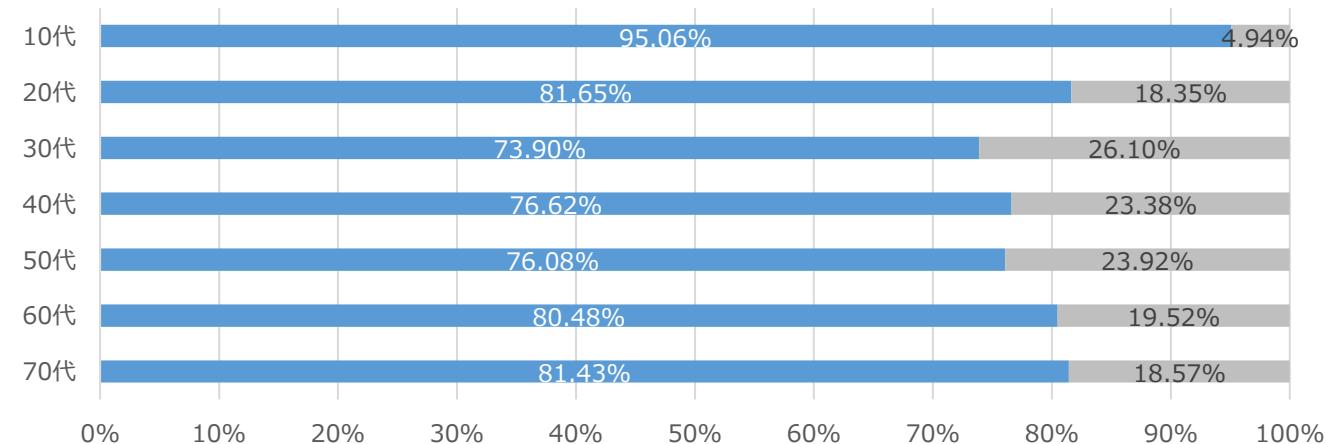
肥満・生活習慣病予防

 肝機能に関する状況

【肝機能（全体）】



【肝機能（年代別）】



生活習慣データ

※ストレスチェックにて追加設問として調査

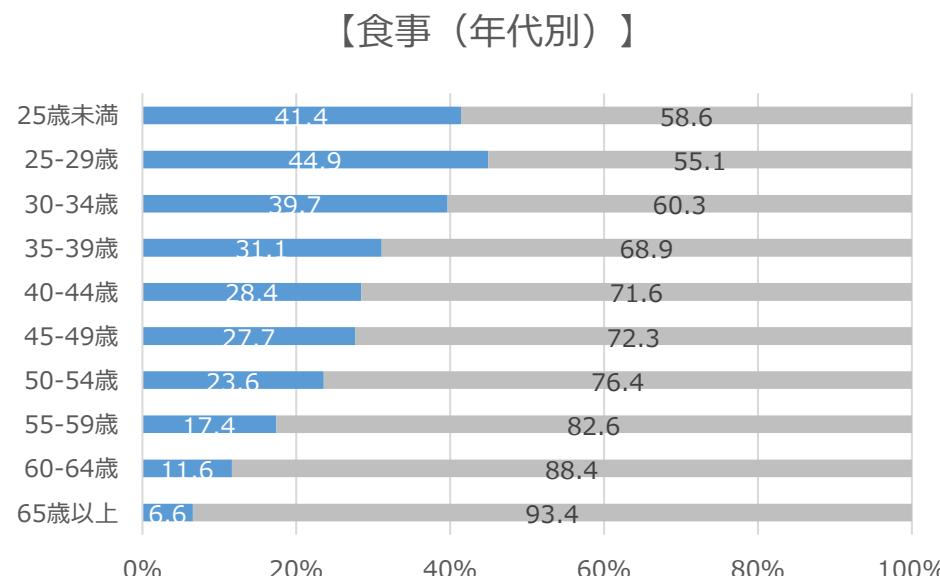
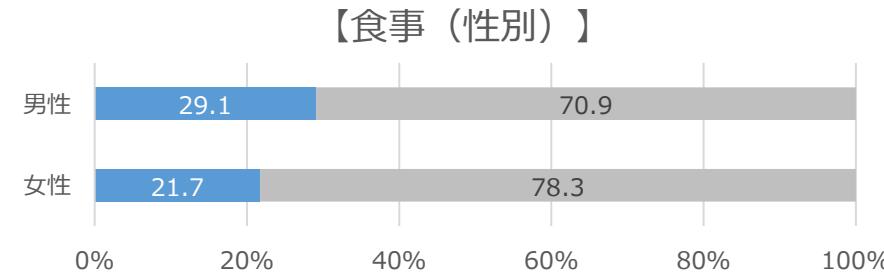
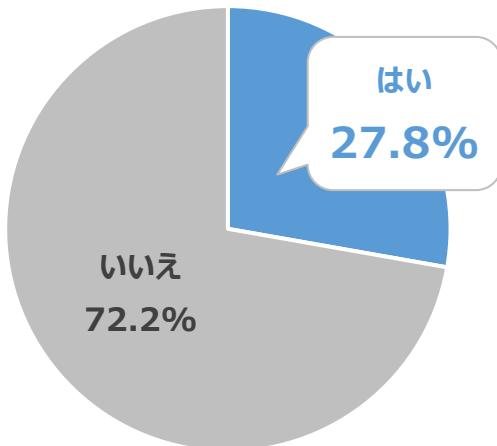
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防

プレゼンティーズムの改善



【設問】
朝食を抜くことが週に3回以上ある。



FY24 朝食を抜くことが週に3回以上ある。		プレゼンティーズム ※労働生産性損失割合		ワーク エンゲージメント		エンプロイー エンゲージメント		ストレス反応		ストレス反応/ ゆううつ感	
表示	割合(%)	表示	割合(%)	表示	偏差値	表示	偏差値	表示	偏差値	表示	偏差値
はい	38	はい	38	ワーク エンゲージメント	49.4	エンプロイー エンゲージメント	47.8	ストレス反応	47.1	ストレス反応/ ゆううつ感	46.8
いいえ	34.1	いいえ	34.1	いいえ	51	いいえ	49.1	いいえ	49.6	いいえ	49.4
比較	3.9	比較	3.9	比較	-1.6	比較	-1.3	比較	-2.5	比較	-2.6

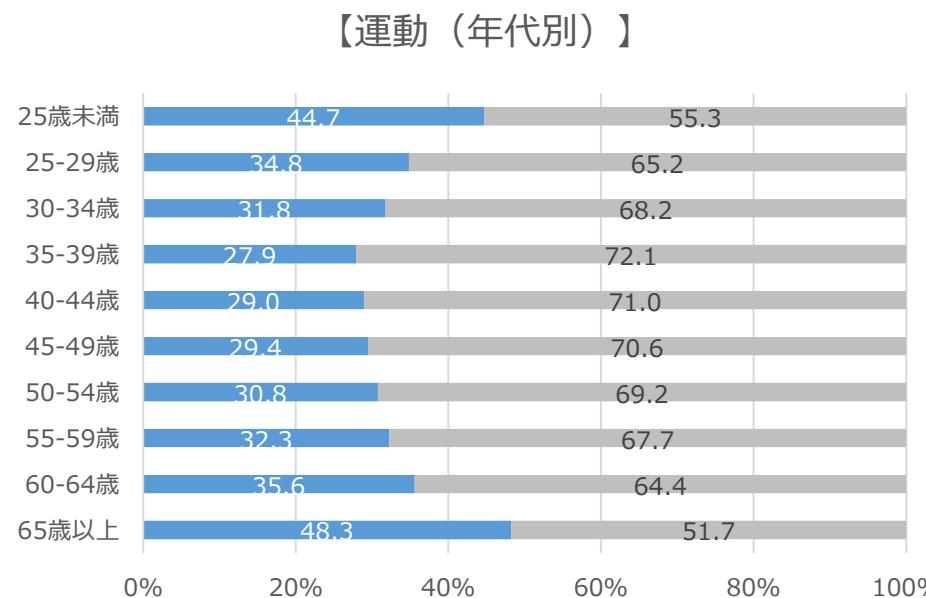
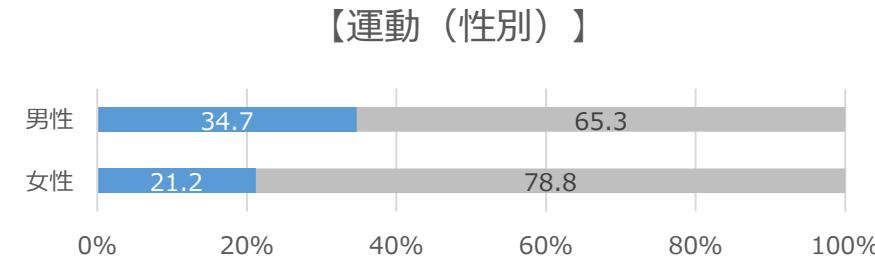
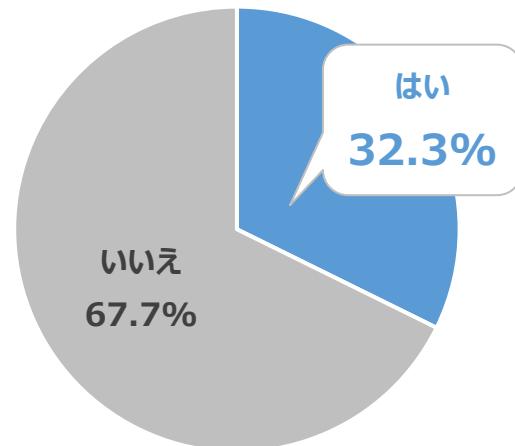
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



運動に関する状況

【設問】
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、
1年以上実施。



FY24_1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	プレゼンティーアイズム ※労働生産性損失割合		ワーク エンゲージメント		エンプロイー エンゲージメント		ストレス反応		ストレス反応/ ゆううつ感		メンタルタフネス度	
	表示	割合(%)	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	
はい	33.5	52	49.4	50.7	50.1	53.4						
いいえ	36	49.9	48.4	48	48	50.1						
比較	-2.5	2.1	1	2.7	2.1	3.3						

FY24_1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	適正体重/ 非適正体重		肝機能有所見/ 該当		血圧有所見/ 該当		脂質有所見/ 該当		血糖有所見/ 該当		肥満度/ 肥満	
	表示	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	
はい	36.8	19.4	16.3	34.4	15	33.1						
いいえ	39	24.4	16.1	37.4	15	33.7						
比較	-2.2	-5	0.2	-3	0	-0.6						

関連する健康課題

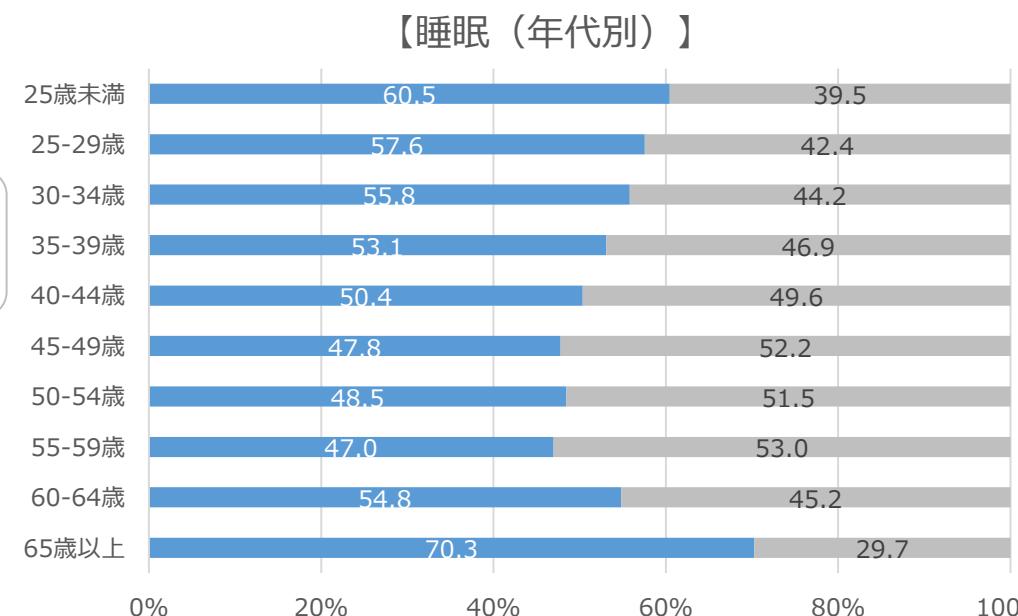
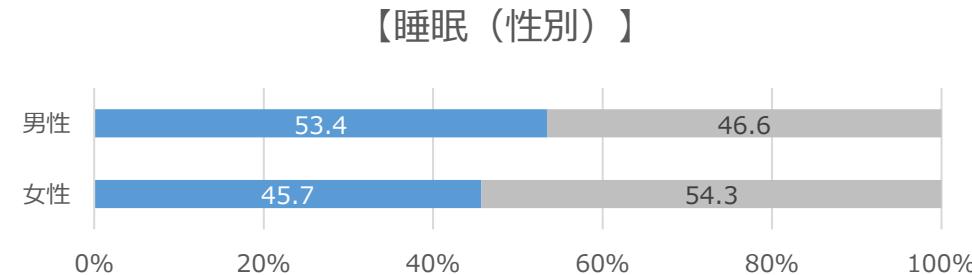
肥満・生活習慣病予防



【設問】
睡眠で休養が十分とれている

はい
52.1%

いいえ
47.9%



FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 表示	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 割合(%)	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 偏差値	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 ワークエンゲージメント	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 エンプロイエンゲージメント	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 ストレス反応	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 ストレス反応/イ ュ う つ 感	FY24_睡眠で休養が十分とれていますか。 メンタルタフネス度
はい	はい	33.7	51.6	49.7	51.2	50.7	52.7	
いいえ	いいえ	37.6	48.6	46.9	44.4	44.9	47.8	
比較	比較	-3.9	3	2.8	6.8	5.8	4.9	

③問診：生活習慣（喫煙）

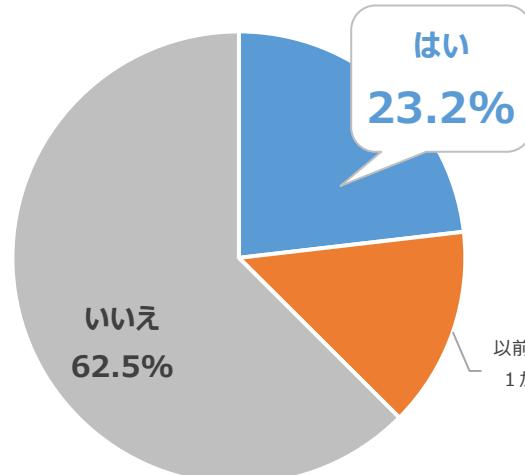
関連する健康課題

肥満・生活習慣病予防



喫煙に関する状況

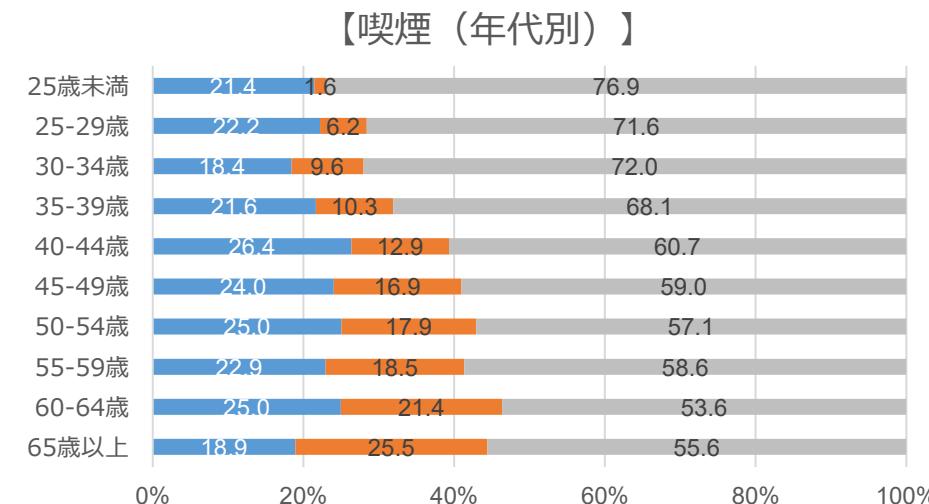
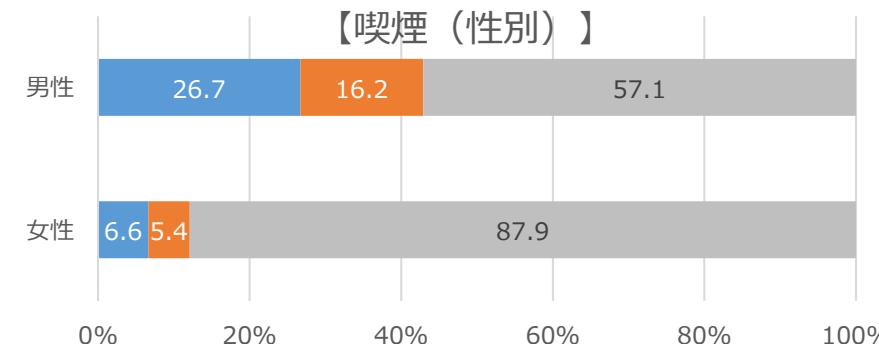
【設問】
現在、たばこを習慣的に吸っていますか。



※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、条件1と条件2を両方満たす者である。

条件1：最近1か月間吸っている

条件2：生涯で6か月間以上吸っている、又は合計100本以上吸っている



FY24_現在、たばこを習慣的に吸っている。	プレゼンティイズム ※労働生産性損失割合	ワーク エンゲージメント	エンブロイ エンゲージメント	ストレス反応	ストレス反応/ ゆううつ感	メンタルタフネス度
表示	割合(%)	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値
はい	35.4	49.7	47.6	48.4	48.4	50.8
以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない	33.8	50.7	48.9	49.6	49.4	51.2
いいえ	35.5	50.8	49.1	48.9	48.6	51.3
比較 ※「はい」と「いいえ」を比較	-0.1	-1.1	-1.5	-0.5	-0.2	-0.5

FY24_現在、たばこを習慣的に吸っている。	適正体重/ 非適正体重	肝機能有所見/ 該当	脂質有所見/ 該当	血圧有所見/ 該当	血糖有所見/ 該当	肥満度/ 肥満
表示	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	
はい	42.5	27.8	41	18.4	19.1	38.1
以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない	41.1	26.1	37.9	20.8	19.4	38.8
いいえ	36.1	20.1	34.4	14.3	12.5	30.6
比較 ※「はい」と「いいえ」を比較	6.4	7.7	6.6	4.1	6.6	7.5

関連する健康課題

プレゼンティーズムの改善



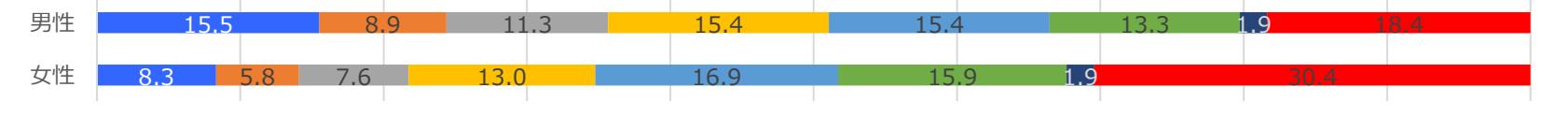
飲酒に関する状況

【設問】

お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度はどのくらいですか。（※「やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があった者のうち、最近1年以上酒類を摂取していない者）

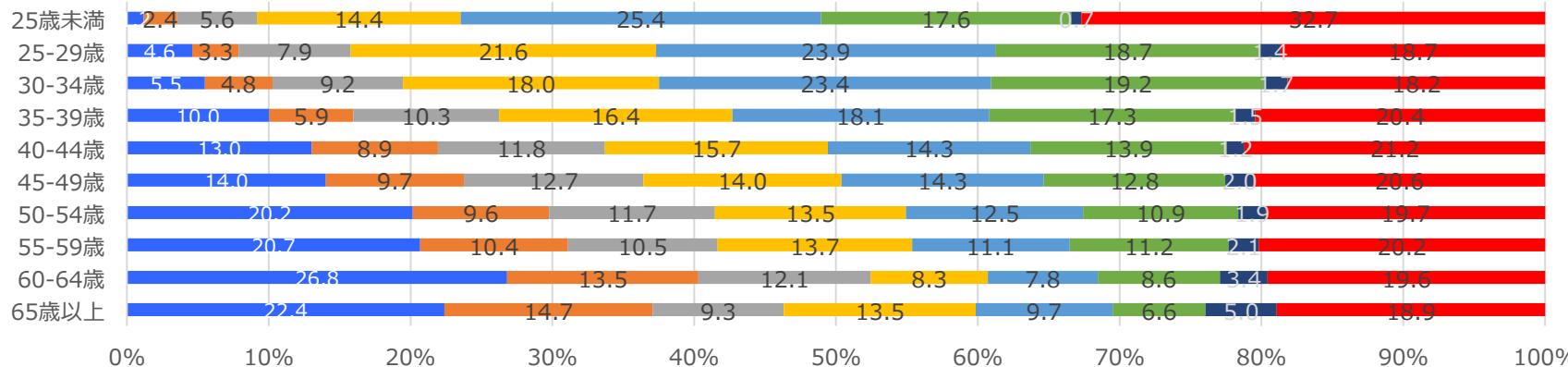


【飲酒（性別）】



【飲酒（年代別）】

※「やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があった者のうち、最近1年以上酒類を摂取していない者



ストレスチェックデータ

※ストレスチェックにて追加設問として調査

実施期間 2024年09月02日～2024年09月12日

実施結果

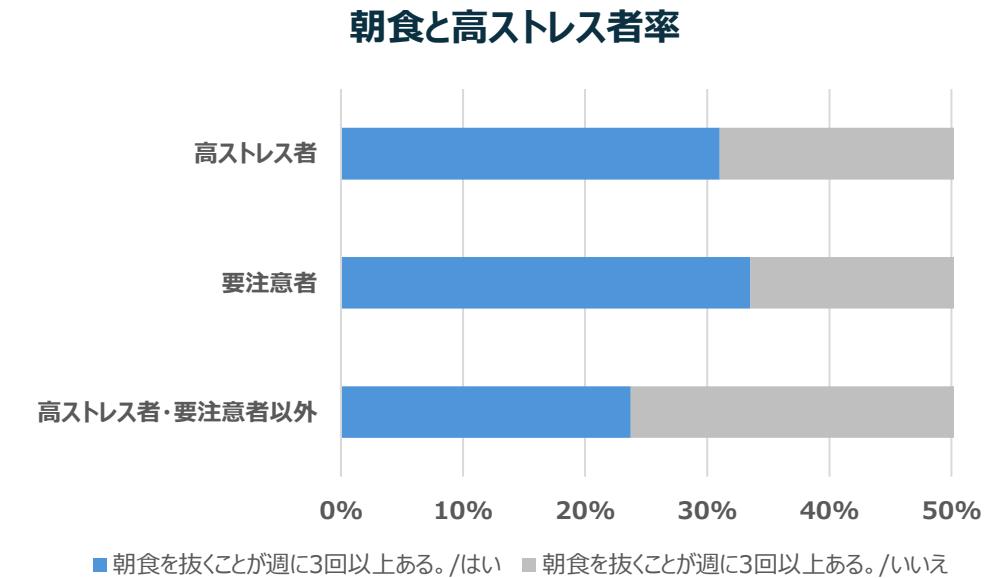
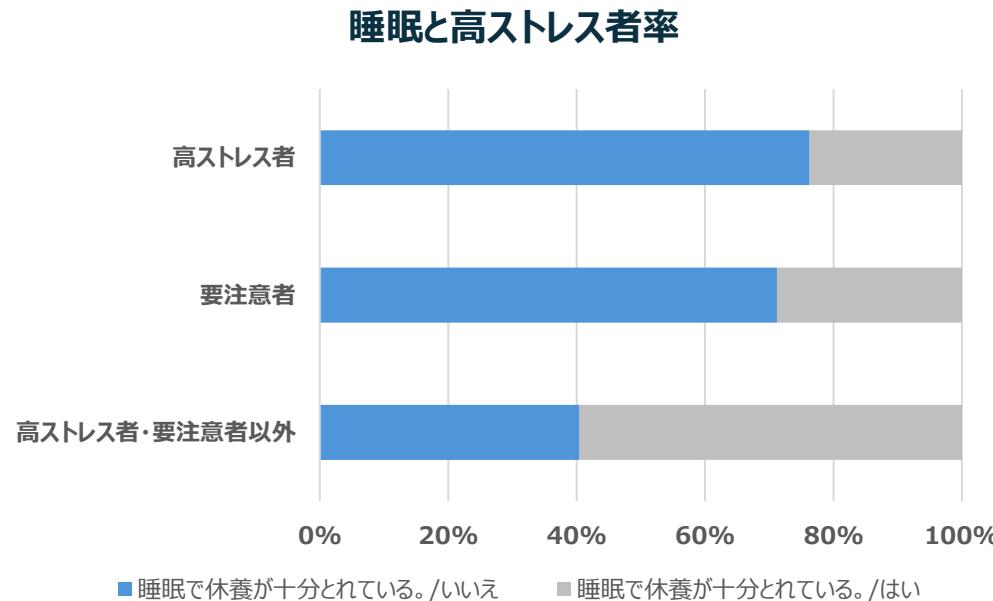
	今回	前回
回答率	91.6 %	93.6 %
分析人数	8,506 人	8,307 人
調査対象人数	9,276 人	8,868 人
高ストレス者率	8.4 %	7.8 %
要注意者率	12.6 %	12.0 %



④ストレスチェック：高ストレス者×生活習慣

関連する健康課題

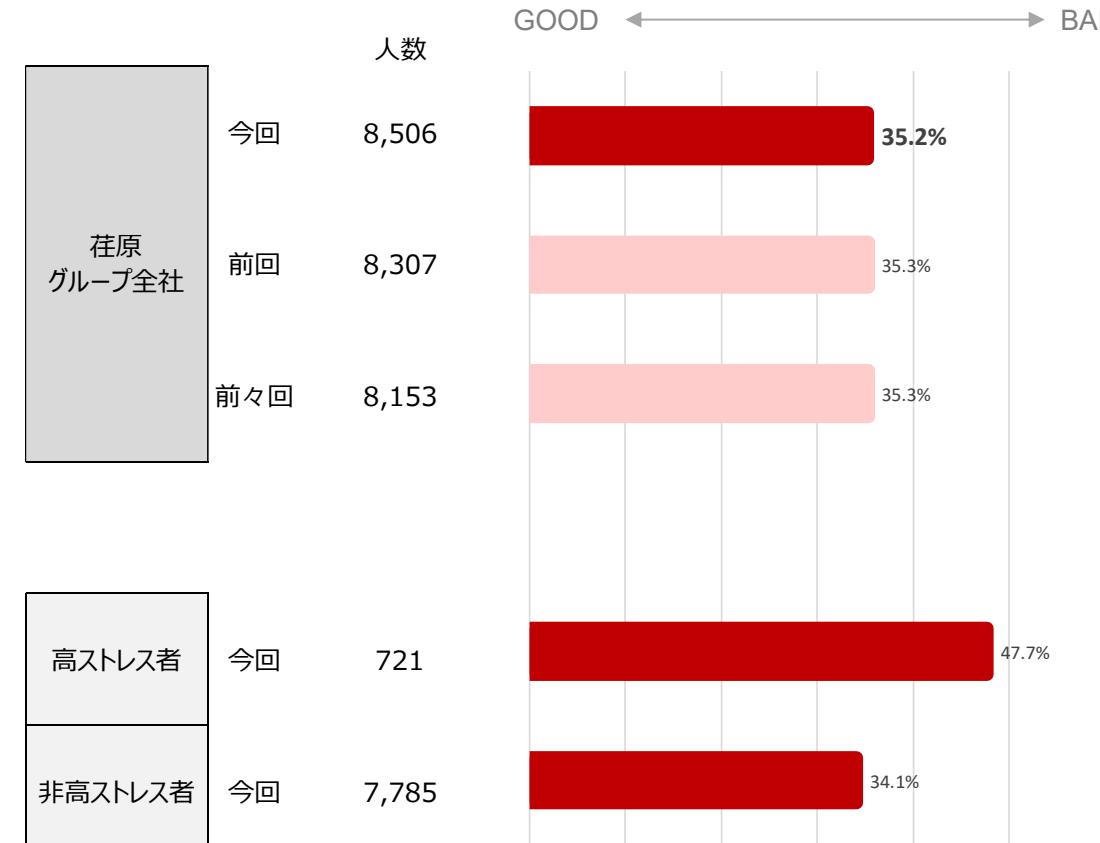
プレゼンティーズムの改善



関連する健康課題

プレゼンティーズムの改善

プレゼンティーズム損失度

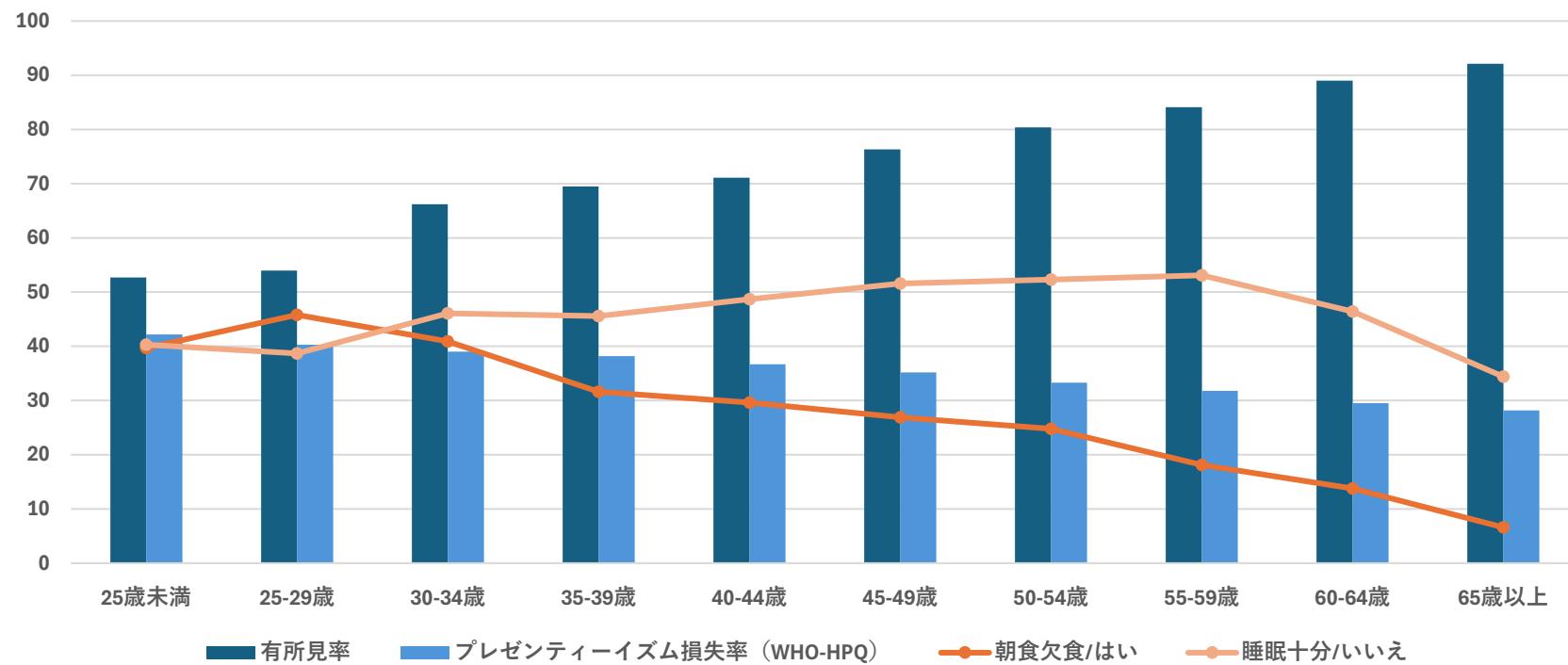


※平均年間給与：第159期有価証券報告書

関連する健康課題

プレゼンティーズムの改善

プレゼンティーイズムと朝食・睡眠



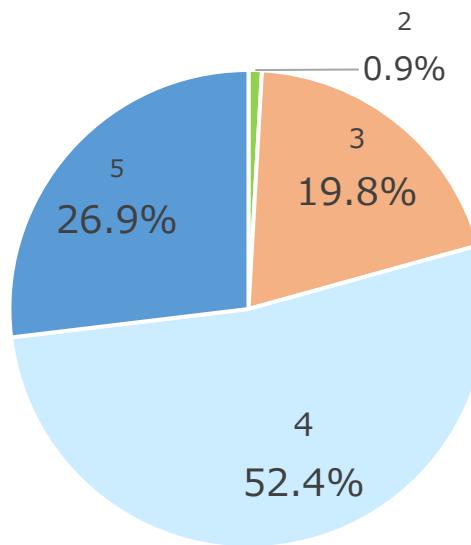
● 睡眠×有所見×プレゼンティーイズム

睡眠で休養が十分とれている。/いいえ		
有所見全体	該当	48.6
	非該当	46
肝機能	該当	48.3
	非該当	47.8
脂質	該当	49.5
	非該当	47.1
血圧	該当	47.8
	非該当	48
血糖	該当	49
	非該当	47.8
肥満度	肥満	48.6
	標準	47.3
	やせ	51.8

2024年度 施策抜粹

ラインケア研修

【研修満足度（5段階）】



その他取り組み

- 全従業員向け アンガーマネジメント研修
- マネージャー向け 今の時代の新人若手との関わり方研修

【実施概要】

荏原グループのマネージャーに対し、なぜラインケアが求められるのか、どのように部下のメンタル疾患に気付き対応するのか等、事例を交えながら、マネージャーとしての対応について理解を深める機会を提供しています

【アンケート全体要約】

今回の研修アンケートでは、参加者が自身のメンタルヘルスと部下のメンタルヘルス管理の両方への意識を高めたことが分かった。特に、在宅勤務の増加などで部下の状況把握が難しくなる中、コミュニケーションと観察の重要性を再認識したとの声が多く聞かれた。研修では、メンタル不調のサインやストレス対処法、相談窓口など実践的な学びがあったが、同時に管理職の責任の重さや孤独感といった課題も浮き彫りになり、今後の更なるサポートが必要性。

【評価ポイント】

セルフケア意識の向上

-多くの参加者が、部下だけでなく自身のメンタルヘルスケアの重要性を認識した。管理職自身の健康が部下支援に繋がるため、これは非常に重要である。

部下への関心の高まり

-部下の些細な「変化」や「サイン」への気づきの重要性を再認識し、より注意深く「観察」する意識が強化された。

コミュニケーションの重要性の再認識

-在宅勤務など環境変化の中、部下との「コミュニケーション」の必要性が改めて認識され、その機会を増やす意欲が見られた。

実践的な学び

-ストレス対処法、メンタル不調の兆候、相談窓口の活用など、具体的な知識と対応方法について学びがあった。

【改善ポイント】

管理職のプレッシャー軽減

-「マネージャーの責任は重い」「孤独を感じる」といった意見から、管理職がメンタルケアの重責を一人で抱え込まないよう、心理的サポートや相談体制の強化が求められる。

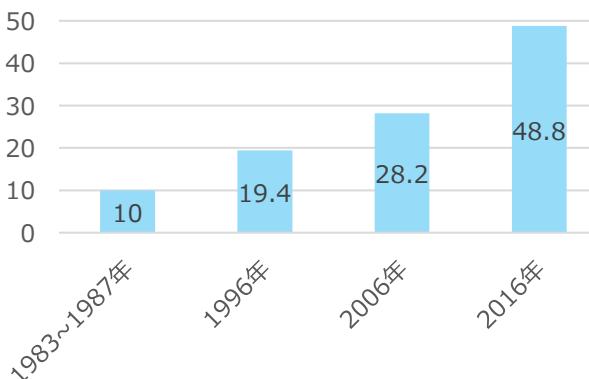
具体的な対応方法の深化

-部下との関係性や個々の状況に応じた、より具体的なコミュニケーション方法や休職者の復帰支援など、実践的なスキル習得のための継続的なサポートが望まれる。



花粉症

花粉症有病率に関する実態調査



出典：東京都花粉症実態調査報告書（2016年）

その他取り組み

- 依存症セミナー
- 眠眠チェック（mysleep）
- 眼精疲労セミナー
- 睡眠セミナー
- 甲状腺セミナー

花粉症によるプレゼンティイズム（出勤しているが、症状などで生産性が低下している状態）は、経済的・社会的損失が大きく、社会問題の1つとなっています。

有病率が上がっている花粉症への正しい対策を知り、春までの時期を少しでも快適に過ごせるよう、1月に耳鼻咽喉科専門医による花粉症セミナーを開催しました。

【アンケート全体要約】

多くの参加者が自身の花粉症症状の緩和や予防、または家族の症状軽減のために参加しており、講演内容の「分かりやすさ」や「参考になった」という評価が多く見られた。特に、早期治療の重要性や具体的な薬（特に点鼻薬）に関する情報が役立ったとの声が目立つ。一方で、専門的な内容の難しさや、オンライン環境における視聴の問題、限られた時間内での情報量の調整が課題として挙げられた。

【評価ポイント】

実践的な知識提供:

-参加者が花粉症対策に直結する具体的な薬や早期治療の重要性を学べた点。

専門性と分かりやすさの融合:

-専門的な内容が、一般の参加者にも理解しやすいように伝えられた点。

早期対策の啓発:

-初期療法の重要性が参加者に強く認識された点。

● 講演会ポスター



【改善ポイント】

専門用語の補足:

-専門用語に対するより丁寧な説明や補足資料の提供が必要。

講演時間と内容のバランス:

-参加者の集中力を維持し、効率的に情報を伝えるための時間配分や内容の調整を検討すべきである。

視聴環境と資料提供:

-オンライン講演における視聴環境への配慮と資料の事前配布や事後公開の改善が求められる。

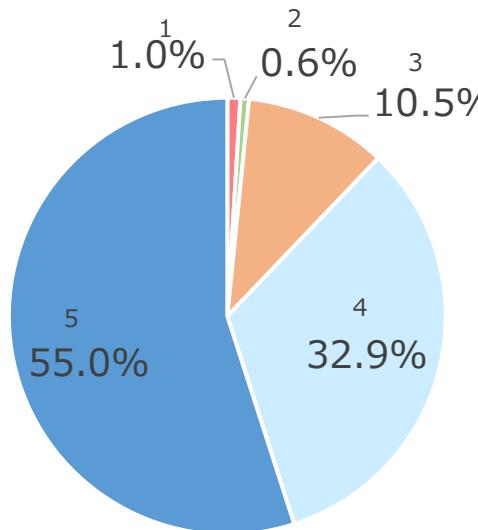
個別ニーズへの対応:

-質疑応答の拡充や個別相談の機会を通じて、参加者の具体的な疑問やニーズに応える必要がある。



食生活（外食・中食・内食）

【満足度（5段階）】



その他取り組み

- 食育マルシェ
- 人とお酒のイイ関係
- 味覚チェック
- 歯科検診
- 歯科通信講座

【実施概要】

内臓脂肪が増加すると高血圧、高血糖、血中コレステロールや中性脂肪が増加し、様々な合併症に繋がります。管理栄養士より、食事の形態別の内臓脂肪をためにくい食事のポイントについて、3回シリーズで講演会を開催しました。

- ①外食編（レストラン・食堂等）
- ②中食編（コンビニやスーパーのお弁当・お惣菜、テイクアウト、デリバリー等）
- ③内食編（おうちごはん）

【アンケート全体要約】

参加者の食生活に対する意識を大きく向上させ、具体的な改善行動への意欲を引き出したと言える。多くの参加者が、**日々の食事内容や食材選び、調理方法を見直すきっかけを得ており、特に「スマート和食」の考え方や、タンパク質と脂質のバランス、食品表示の見方など、実践しやすいアドバイスが好評**であった。コンビニ食や外食が多い層にとっても、賢い選択方法が示されたことで、健康的な食生活への道筋が見えたようである。一方で、食生活改善におけるコストや時間の課題、個別の状況に合わせたアドバイスへのニーズも浮き彫りになり、今後のフォローアップや情報提供における改善点が示唆された。

【評価ポイント】

実践的な知識と具体的なアドバイス：

-参加者が食生活への意識と行動を促されたのは、「油は1食に一皿」「タンパク質が脂質の2倍以上」といった具体的な数値目標により、食生活への意識・行動変容が促された。

簡潔で分かりやすい内容：

-情報が整理されており、講師の話し方や資料の工夫によって理解しやすい形で提供され、スムーズに情報を吸収できた。

【改善ポイント】

専門用語の補足：

-専門用語に対するより丁寧な解説が不足し、素人には難しい場面があった。

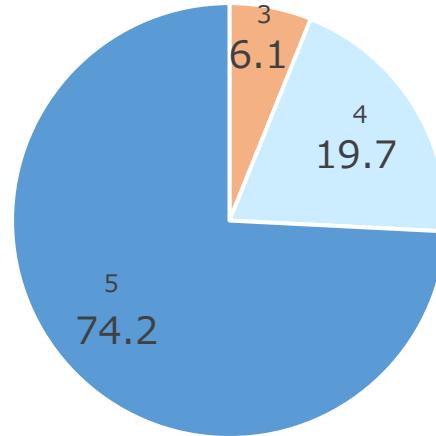
個別質問への対応強化

-個別の疑問に踏み込んだ質疑応答の時間が不足していた。



生理痛体験会

【満足度（5段階）】



【実施概要】

生理をはじめとする女性特有の健康課題は、プレゼンティーアイズム（労働生産性損失）との相関関係も高く、男性マネージャーの業務配慮が求められます。女性特有の健康課題について理解を深める為、男性マネージャーを対象とした生理痛体験会を実施しました。

【アンケート全体要約】

回答者の多くが、「実際に近い痛み」や「女性の生理痛を疑似体験できたこと」に価値を見出し、この体験を通じて女性の大変さや苦痛を深く理解できたと感じている。多くの人が、今まで想像できなかった痛みを体験したこと、女性への配慮や共感が自然にできるようになるだろうと考えている。また、この体験が家庭内での会話のきっかけになったり、職場での業務環境改善を考えるきっかけになったという声もあった。

【評価ポイント】

痛みのリアルな体験：

-実際に近い痛みを体験でき、生理痛のつらさへの理解が深まった。

共感と配慮の促進：

-女性の大変さを知り、共感や配慮の意識が高まった。

学びの機会：

-生理に関する知識を深める良い機会となった。

コミュニケーションのきっかけ：

-家庭内での会話や、個人的な関係におけるコミュニケーション促進に繋がった。

職場環境改善への示唆：

-職場での女性従業員への理解促進や働きやすい環境づくりへの意識向上に繋がった。

筋電気刺激（EMS）を用いて、生理時に生じる腹部の痛みを段階的に体験できるVR装置



その他取り組み

- 前立腺がん講演会
- 男性更年期講演会
- 子宮がん講演会
- 乳がん講演会



【改善ポイント】

情報提供の拡充：

-体験だけでなく、生理に関する補足資料の提供が望まれる。

体験時間の延長・多様な状況の考慮：

-より長い時間の体験や、生理痛の個人差を考慮した説明、異なるシチュエーションでの体験機会の提供も有効であろう。

体験後のディスカッションの場：

-体験で得た気づきを行動に繋げるための具体的な話し合いの場を設定すると良い。

期待値とのギャップ：

-体験の再現性や個人差に対する事前の説明、または多様な痛みのレベルを体験できる工夫も検討の余地がある。

ウォーキングプログラム (ei散歩)

【実施概要】

希望者にFitbitを貸与し、スマホアプリを通じて、自らのカラダを見える化できるプログラムです。

睡眠、心拍/心拍機能、消費カロリー、歩数・距離等を集計できるほか、年2回のウォーキングプログラムを実施し、参加者に対し健康インセンティブ付与を行っています。



- プレゼンティーアイズム
参加者の方が、3.3% 良好な値である。

ei散歩_全参加者	プレゼンティーアイズム ※労働生産性損失割合
表示	割合 (%)
参加	32.2
非参加	35.5
比較	-3.3

■ 2024年参加者数	全体：553名 (登録だけの人を除いた人数)
■ 2025年新規申込数	全体：148名

合計：701名	

その他取り組み

- 食生活改善プログラム
- 血圧測定プログラム
- 体重測定プログラム
- 基礎体温測定プログラム

● 年代別 参加構成

参加者を年代別にみると、45歳以上の参加率が高く、**若年層の加入率が低い**。
若年層に加入してもらえるアプローチ・仕組み作りが肝要である。

ei散歩_全参加者	25歳未満	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65歳以上
表示	割合 (%)									
参加	2	4.2	9.5	5.6	9.1	16.5	25.2	15.6	8.9	2.9
非参加	4.1	8.5	10.2	9.6	10.9	14.2	17.1	13	7.6	4.3
比較	-2.1	-4.3	-0.7	-4	-1.8	2.3	8.1	2.6	1.3	-1.4

● 有所見率

参加者と非参加者の有所見率を比較すると、**全ての項目において、参加者の方が良好な値であった**。
特に、肝機能では6.3%もの差が見られた。**習慣的な運動習慣は、健康状態にプラスの影響がある**ことが読み取れる。

ei散歩_全参加者	有所見 (全体) /該当	非適正体重 /該当	肝機能有所見 /該当	脂質有所見 /該当	血圧有所見 /該当	血糖有所見 /該当	肥満度 /肥満
表示	割合 (%)						
参加	71.7	35.7	17	36	14.2	13.7	31.4
非参加	74.9	38.7	23.3	36.7	16.3	15.3	33.9
差分	-3.2	-3	-6.3	-0.7	-2.1	-1.6	-2.5



荏原文化体育会

【実施概要】

従業員間のコミュニケーション促進を目的とし、定時後もしくは週末に様々なイベントを実施しています。対面だけでなく、オンラインイベントも複数開催しており、全国の様々な拠点からも参加できる環境を整えています。福利厚生の一環で補助が出るため、参加しやすく従業員からも好評です。

●ソフトボール大会



●駅伝大会



●蕎麦打ち教室

●味噌づくり体験

●キムチ教室

●苔テラリウム

●お正月飾り教室

●てのリウム（プリザーブド苔テラリウム）

●キムチ教室

●マインドフルネス＆坐禅会 等

<FY2024 実績>

延人数：1,814人
実人数：1,349人

●食育農業体験ツアー



千葉県の農場で、新鮮な野菜を収穫しました。収穫後には、一人ずつ野菜を使ったピザ作りを体験。ピザを食べながら、野菜に関するクイズ大会を開催し、家族皆で食育を学びました。



参加者の方が、プレゼンティーアイズムやエンゲージメント、ストレス反応が良好な値である。

FY24 荏原文化体育会 参加者	プレゼンティーアイズム ※労働生産性損失割合	ワーク エンゲージメント	エンプロイー エンゲージメント	ストレス反応	ストレス反応/ ゆううつ感	メンタルタフネス度
表示	割合(%)	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値	偏差値
参加	33.4	51.8	51	49.4	49.3	52.5
非参加	35.5	50.4	48.4	48.8	48.6	51
比較	-2.1	1.4	2.6	0.6	0.7	1.5

プレコンセプションケア

【実施概要】

プレコンセプションケアとは、将来の妊娠や出産を見据えた健康管理の考え方のことです。世界保健機関（WHO）では、「妊娠前の女性とカップルに医学的、行動学的、社会的な保険介入を行うこと」と定義されています。



女性産婦人科医による相談（予約制）

女性産婦人科医に、妊娠・出産の不安や疑問を電話で相談できます。信頼性の高いアドバイスを受けられる安心のサービスで、あなたのマタニティライフをサポートします。看護師がご相談内容を伺い、医師との相談予約を受け付けます。

受付時間 24時間

相談時間 月～金曜日

10:00～18:00

（祝日・年末年始を除く）



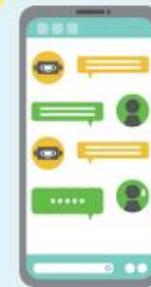
0800-777-0269

晩婚化の影響などで不妊が増加していることや、仮に妊娠・出産する選択をしなかったとしても健康増進の意義があり、健康寿命の延伸につながるといった観点から、プレコンセプションケアの必要性が強く認識されています。

荏原健康保険組合では、2024年12月より「女性サポート相談」のサービスを開始しました。妊娠・出産・育児で変化する女性に寄り添う相談サービスで、チャットボットやSNSだけでなく、女性産婦人科医による相談も無料で受け付けています。

妊娠・出産 チャットボット

電話で相談するのは気が引ける…、そんな場合にはチャットボットをご利用いただけます。24時間365日、気軽に相談できます。医師監修の信頼できるチャットボットです。



受付・相談時間 24時間



女性のための メンタルSNS相談

電話での相談は少し気が引けるという方でも安心してお使いいただけます。チャット形式の相談窓口です。ご自身のこころの悩みや、メンタルヘルス不調、家族のことや仕事のことなど、お気軽にご相談ください。



受付・水～金曜日

相談時間 12:00～19:00

（祝日・年末年始を除く）



ハイリスクアプローチ：重症化予防

FreeStyleリブレ

指先から血を出さず、いつでもどこでも、服の上からでも血糖値を簡単に測定できるFreeStyleリブレを実施しました

<FreeStyleリブレの特徴>

- ・指先に針を刺すことなく測定が可能
- ・スマートフォンアプリでの管理が可能
- ・1分毎にリアルタイムでグルコース値を測定
- ・専用アプリにデータが自動連携
- ・測定データは一目でわかるグラフで表示



	精密検査以上	再検査以上	その他
対象者	健康診断結果で糖代謝の項目が精密検査以上の人 (HbA1c6.5%かつ血糖126mg/dl以上)	健康診断結果で糖代謝の項目が再検査以上の人 (HbA1c6.0%かつ血糖110mg/dl以上)	左記に該当しないが希望する者
費用	無料（全額建保負担）		一部自己負担